

県内におけるリスキングの推進について

山形労働局

【リスキング関連の主な施策・教育訓練給付制度】

山形県

【地域リスキング推進事業・在職者訓練】

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 山形支部

【生産性向上人材育成支援センター】

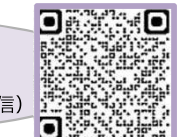
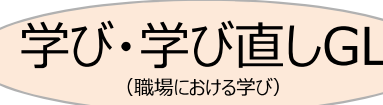
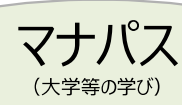
国立大学法人 山形大学

【リカレント教育】

山形キャリア形成・リスキング支援センター

【キャリア形成・リスキング推進事業】

支援対象	企業	<p>○第四次産業革命スキル習得講座認定制度 <span style="float: right;">経済産業省</span></p> <p>IT、データ活用等の分野において、キャリアアップに繋がるような専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定。</p> <p>○デジタル人材育成プラットフォーム <span style="float: right;">経済産業省</span> (令和7年度概算9億円)</p> <p>地域のDX加速に必要なデジタル人材を育成するため、デジタル人材育成プラットフォームにおいて、スキル標準に紐付ける形で民間事業者等と連携したコンテンツの集約・提示等を実施するとともに、個々人の保有スキルの蓄積や取得スキルのデジタル証明等を可能とする情報基盤を構築。</p> <p>○人材開発支援助成金の「人への投資促進コース」、「事業展開等リスキリング支援コース」 <span style="float: right;">厚生労働省</span> (令和7年度概算569億円)</p> <p>労働者がスキルアップのため自発的に受講する訓練等を支援する企業や新規事業の立ち上げなどに伴って職務が変更となる従業員に必要な訓練を行う企業への支援を実施。</p>	<p>○キャリア形成・リスキリング推進事業 <span style="float: right;">厚生労働省</span> (令和7年度概算41億円)</p> <p>労働者のキャリア形成やリ・スキリングの取組を促すための相談支援事業の拡充。</p> <p>○生産性向上人材育成支援センター <span style="float: right;">厚生労働省</span> (令和7年度概算562億円の内数)</p> <p>中小企業等に対する人材育成に関する相談、人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで一貫して支援する総合窓口。</p> <p>○中小企業リスキリング支援事業 <span style="float: right;">厚生労働省</span> (令和7年度概算2.5億円) 【新規】</p> <p>中小企業の人材育成等に関する専門的な助言・指導による支援。</p> <p>○団体等検定制度 <span style="float: right;">厚生労働省</span> (令和7年度概算0.69億円) 【新規】</p> <p>スキルの階層化・標準化に向けた幅広い職種における団体等検定制度の活用促進に向けた施策。</p>
	個人	<p>○リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業 <span style="float: right;">経済産業省</span> (令和4年度補正753億円、令和5年度補正97億円)</p> <p>個人に対して、キャリア相談からリスキリング、転職までを一体的に支援する仕組み整備に要する費用を民間事業者経由で補助。</p> <p>○地域ニーズに応える産学官連携を通じたリカレント教育プラットフォーム構築支援事業 <span style="float: right;">文部科学省</span> (令和5年度補正1.4億円)</p> <p>地域における人材ニーズの把握や、経営者向けのプログラム開発など、大学や自治体等がリカレント教育のプラットフォームを構築。</p>	<p>○リカレント教育エコシステム構築支援事業 <span style="float: right;">文部科学省</span> (令和7年度概算25.7億円) 【新規】</p> <p>大学等が地域や産業界と連携・協働して、中小企業経営者や産業界の人材育成ニーズを踏まえたリカレント教育プログラムを開発・実施。</p> <p>○中小企業大学校における経営者・経営幹部リスキリング <span style="float: right;">経済産業省</span> (令和7年度概算221億円の内数)</p> <p>中小企業大学校で、経営者・経営幹部を対象にした、財務・会計、経営戦略、組織マネジメントなどの実践的な研修を提供。</p>
	直接給付	<p>○教育訓練給付制度 <span style="float: right;">厚生労働省</span> (令和7年度概算118億円)</p> <p>自らデジタル分野等のスキルアップに取り組む個人への直接支援を拡充し、給付率を最大8割に引き上げ。</p>	<p>○教育訓練休暇給付金及び新たな融資制度の創設 <span style="float: right;">厚生労働省</span> (教育訓練休暇給付金 令和7年度概算79億円) 【新規】 (融資制度 令和7年度概算5.1億円) 【新規】</p> <p>教育訓練のための休暇を取得した場合に、生活を支えるための給付金を支給する制度や、雇用保険被保険者以外の者について、教育訓練を受けるに当たって必要となる費用を融資する融資制度を創設。</p>



令和7年度概算要求額 **623**億円（**645**億円） ※（ ）内は前年度当初予算額

うち、人への投資促進コース及び事業展開等リスキリング支援コース 569億円（573億円）

労働特会		子会特会		一般
労災	雇用	徴収	育休	会計
	○			

## 1 事業の目的

職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）（以下「能開法」という。）第12条に規定する職業能力開発推進者を選任し、かつ、能開法第11条に規定する事業内職業能力開発計画及び当該計画に基づく職業訓練実施計画等に基づき、職業訓練又は教育訓練の実施その他職業能力開発に係る支援を行う事業主等に対して助成を行うことにより、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を促進し、もって企業内における労働者のキャリア形成の効果的な促進に資することを目的とする。

## 2 事業の概要・スキーム・実施主体等

令和5年4月1日に統合（特定訓練コース、一般訓練コース、特別育成訓練コース）

雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識及び技能を習得させるための職業訓練等を計画に沿って実施した場合等に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成。

【令和5年度実績：38,190件（支給決定件数）】

### 見直しの概要

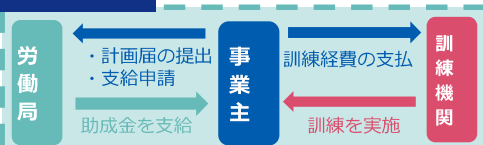
○非正規に係る訓練機会を増加させるため、人材育成訓練の非正規助成率を60%→70%に引き上げる。

また、正社員化による高率助成を有期実習型訓練に限定し、正社員化を支給要件とし、助成率を75%に引き上げる。

○賃金助成を960円から1,000円、760円から800円、380円から400円、480円から500円に引き上げる。

コース名	対象訓練・助成内容	助成率・助成額 注（ ）内は中小企業事業主以外		
		OFF-JT		OJT
		経費助成	賃金助成	実施助成
人材育成支援コース	OFF-JT訓練（人材育成訓練）	正規:45(30)% 非正規:70%		-
	OFF-JTとOJTの組み合わせ訓練	45(30)%	800(400)円/時・人	最低6か月 20(11)万円/人
教育訓練休暇等付与コース	有給教育訓練休暇制度(3年間で5日以上)を導入し、労働者が当該休暇を取得して訓練を受けた場合	30万円 ※制度導入助成	-	-
		75%		最低2か月 10(9)万円/人
人への投資促進コース 〔令和4年4月1日新設〕	高度デジタル人材訓練 ／成長分野等人材訓練	デジタル 75(60)%	1,000(500)円/時・人	-
	情報技術分野認定実習併用職業訓練 (OFF-JTとOJTの組み合わせ訓練)	成長分野 75%	1,000円/時・人 ※国内大学院	-
	定額制訓練	60(45)%	800(400)円/時・人	最低6か月 20(11)万円/人
	自発的職業能力開発訓練	45%	-	-
	長期教育訓練休暇制度 ／教育訓練短時間勤務制度及び所定外労働免除制度	長期休暇 20万円 ※制度導入助成	1,000(800)円/時・人 ※有給時	-
事業展開等リスキリング支援コース 〔令和4年12月2日新設〕	事業展開等に伴い新たな分野で必要となる知識や技能を習得させるための訓練	短時間勤務等 20万円 ※制度導入助成	-	-
		75(60)%	1,000(500)円/時・人	-

### スキーム



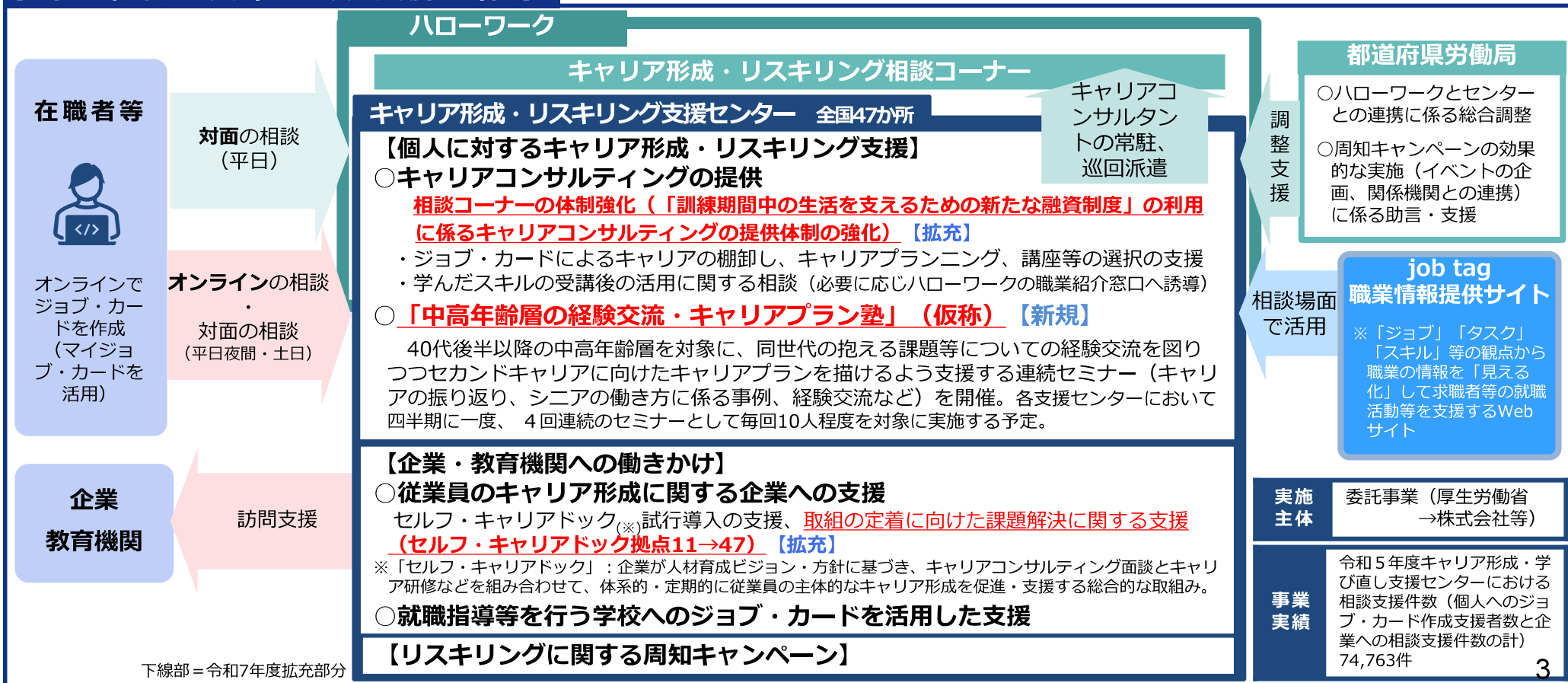
※ 各訓練において、訓練受講の成果を評価し、制度として資格手当を支払う場合などに経費助成率を15%加算。

労働特会		子子特会	一般
労災	雇用	徴収	育休
	○		会計

**事業の目的** 令和7年度概算要求額 **41億円（38億円）** ※（ ）内は前年度当初予算額

- ・労働者を取り巻く環境の急速な変化と職業人生の長期化・多様化が進行する中で、必要とされるスキルや労働需要の変化に対応し、自らのスキルを向上させキャリア形成を図る労働者のリスキングの取組を促すため、リスキングの重要性や必要性に関する理解を進めるキャンペーンを行うとともに、労働者がキャリアコンサルティングを受ける機会の提供や従業員のキャリア形成支援に取り組む企業等への支援を推進する。
- ・特に、少子高齢化が急速に進展し、全ての年代の人々がその特性・強みを生かし活躍できる環境の整備が求められる中、中高年齢層においてはセカンドキャリアを見据えたキャリアプランの策定やモチベーションの維持に課題を抱える者も多く見られることから、当該年齢層を対象としたキャリア形成支援の強化を図る。
- ・また、企業における従業員のキャリア形成支援の取組について、試行導入後の定着のための課題解決に必要な支援を強化する。

## 事業の概要・スキーム、実施主体等



下線部 = 令和7年度拡充部分

# 経済社会の変化に対応した労働者個々人の学び・学び直しの支援

職業安定局雇用保険課（内線5762）  
人材開発統括官若年者・キャリア形成支援担当参事官室（内線5390）

令和7年度概算要求額 **118億円**（128億円） ※（）内は前年度当初予算額

労働特区		子子特区	一般 会計
労災	雇用	徴収	
	○		

## 1 事業の目的

厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した場合に、その費用の一部を支給する「教育訓練給付」において、経済社会の変化に対応した労働者個々人の学び・学び直しを支援するため、デジタル分野等の成長分野の訓練機会の拡大と教育訓練を受講しやすい環境の整備を図る。

## 2 事業の概要・スキーム

### デジタル分野等の成長分野の訓練機会の拡大

- 個人や地域の訓練ニーズを踏まえたデジタル分野等の成長分野の講座を拡大

### 教育訓練を受講しやすい環境の整備

- 教育訓練給付の受給手続のオンライン化
- 教育訓練支援給付金による訓練期間中の受講支援

### 専門実践教育訓練の概要

#### <給付の内容>

労働者等が、厚生労働大臣の指定する専門的・実践的な教育訓練（専門実践教育訓練）を受講・修了した場合に、訓練費用の最大80%（※）を支給

※50%（上限年間40万円）を6か月ごとに支給。訓練修了後1年以内に資格取得・就職した場合等は20%（上限年間16万円）、賃金が上昇した場合は更に10%（上限年間8万円）を追加支給

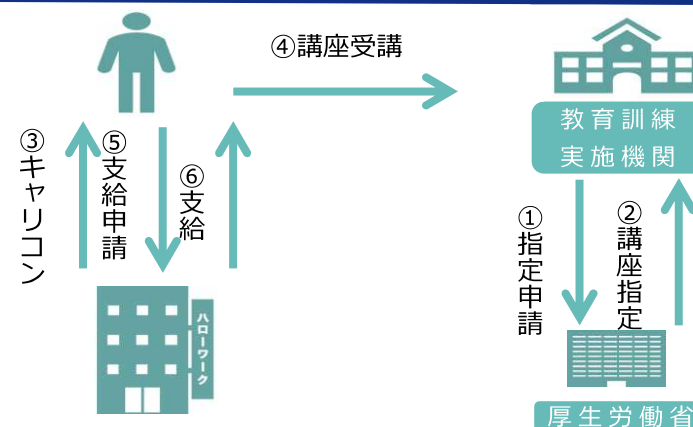
#### <支給要件>

雇用保険の被保険者期間3年以上（初回の場合は2年以上）を有する者

### 教育訓練支援給付金の概要

専門実践教育訓練（通信制・夜間制を除く）を受講し、修了する見込みのある45歳未満の若年離職者に対して、訓練期間中の受講支援として、基本手当日額の60%を訓練受講中に2か月ごとに支給するもの（令和8年度末までの暫定措置）

※受講開始日前に教育訓練給付金を受給していないことを要する。



指定講座数: 2,972講座（令和6年4月1日時点）

- ①業務独占資格等の取得を訓練目標とする養成課程  
例: 看護師、介護福祉士、美容師 等
- ②専修学校の職業実践専門課程等  
例: 商業実務、情報処理 等
- ③専門職学位課程  
例: 法科大学院、教務大学院 等
- ④大学等の職業実践力育成プログラム  
例: 特別の課程(保健)、(工学・工業) 等
- ⑤一定レベルの情報通信技術資格取得を目標とする課程  
例: シスコ技術者認定資格(CCNP) 等
- ⑥第四次産業革命スキル習得講座  
例: データサイエンティスト、サイバーセキュリティ 等
- ⑦専門職大学、専門職短期大学、専門職学科の課程

令和7年度概算要求額 **79**億円 (一億円) ※()内は前年度当初予算額

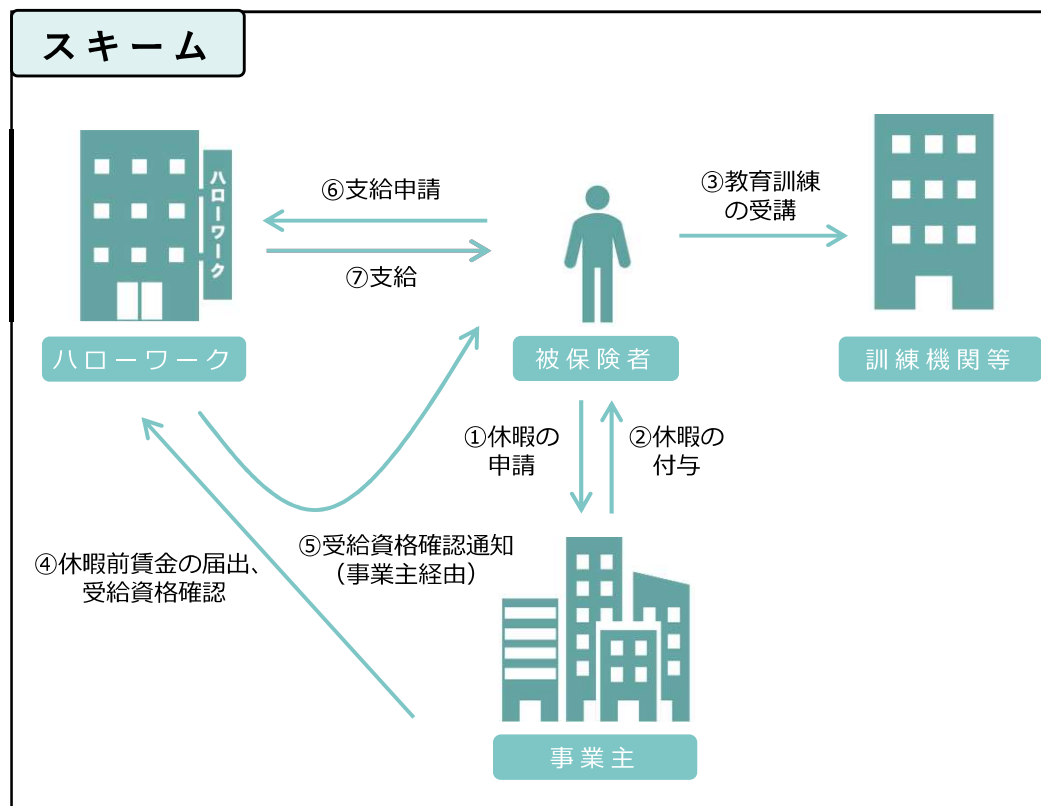
労働特会		子会特会		一般会計
労災	雇用	徴収	育休	
	39/40			1/40

## 1 事業の目的

労働者の主体的な能力開発をより一層支援する観点から、労働者が生活費等への不安なく教育訓練に専念できるよう、雇用保険被保険者が自発的に、教育訓練を受けるための休暇を取得した場合に、基本手当に相当する給付として、賃金の一定割合を支給する給付を創設する。

## 2 事業の概要・スキーム・実施主体等

事業の概要	
名称	教育訓練休暇給付金
対象者	雇用保険被保険者
支給要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育訓練のための休暇（無給）を取得すること</li> <li>休暇開始前2年間にみなし被保険者期間が12か月以上あること</li> <li>算定基礎期間が5年以上あること</li> </ul>
給付内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>離職した場合に支給される基本手当の額と同じ</li> <li>給付日数は、算定基礎期間に応じて90日、120日、150日のいずれか</li> </ul>
国庫負担	給付に要する費用の1/4又は1/40（基本手当と同じ）



令和7年度概算要求額 5.1億円 (-億円) ※ ()内は前年度当初予算額

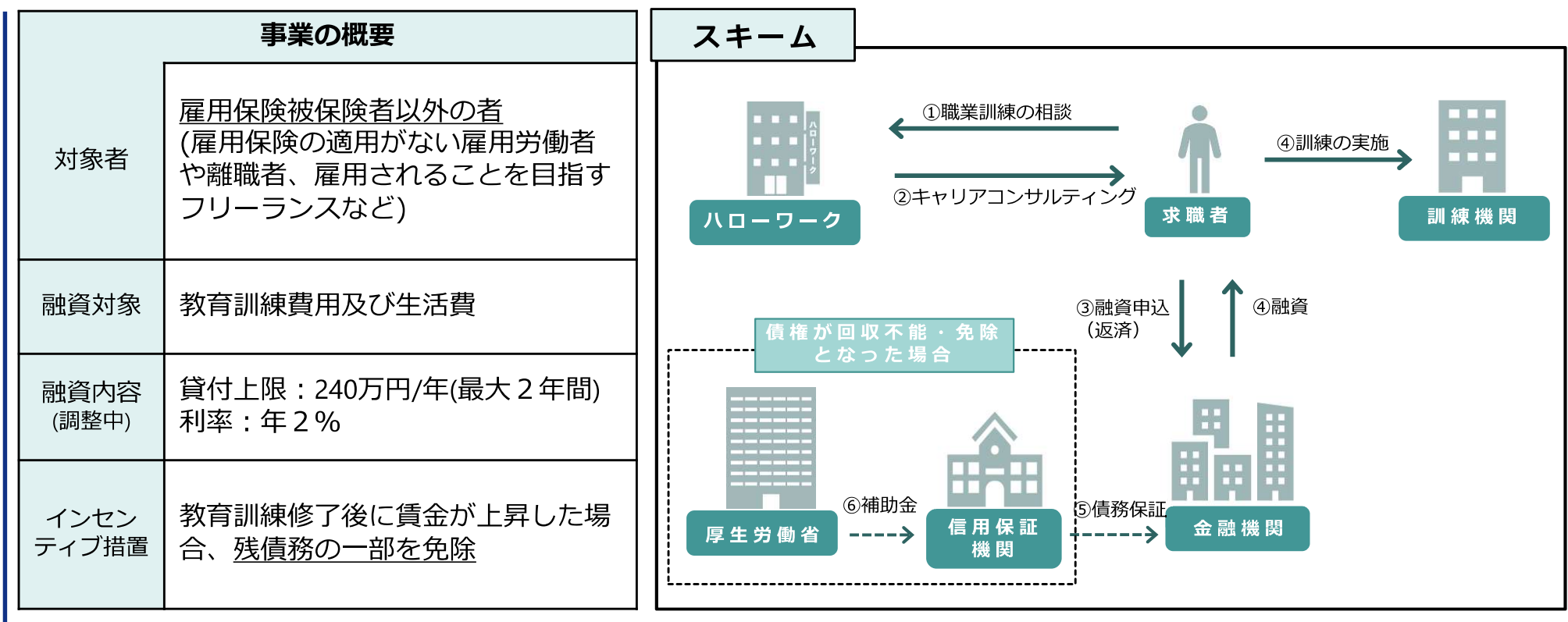
労働特会		子会特会	一般会計
労災	雇用	徴収	
	3/4		1/4

## 1 事業の目的

雇用保険被保険者以外の者が、生活費等への不安なく教育訓練に専念し、スキルアップ等を実現できるようにするため、これらの者が自ら選択した教育訓練を受けるに当たって必要となる費用を融資する制度を創設する。

教育訓練の効果を高めるインセンティブとして、教育訓練受講後に賃金が上昇した場合には、残債務の一部を免除することとする。

## 2 事業の概要・スキーム・実施主体等



## 教育訓練給付制度の指定講座の状況等

厚生労働省 山形労働局

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan



# 教育訓練給付の概要

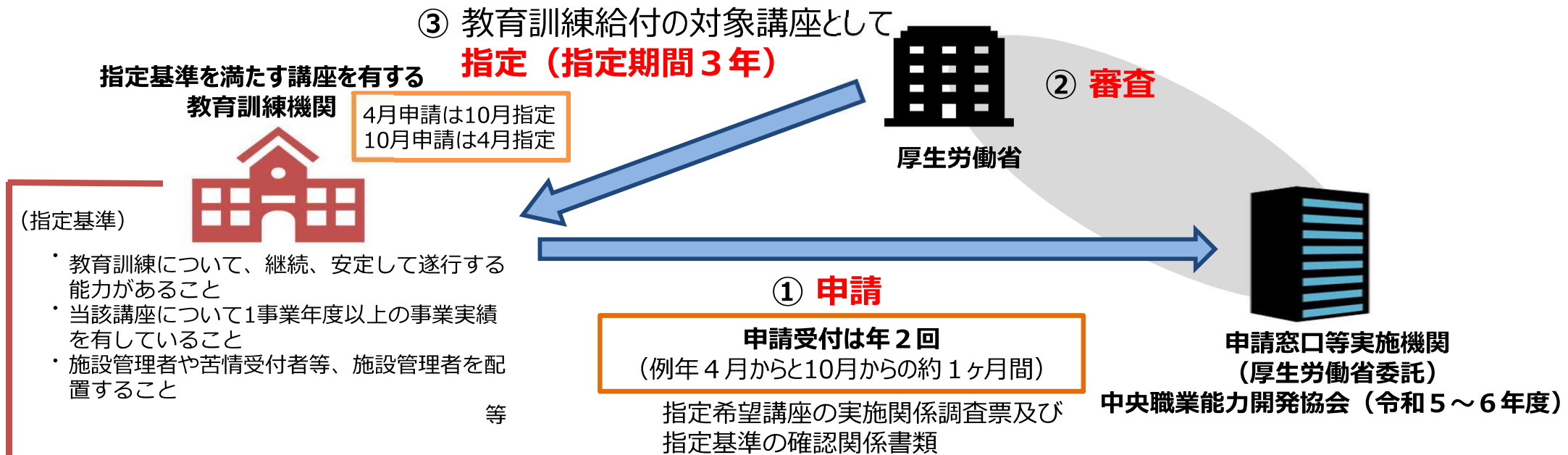
労働者が主体的に、厚生労働大臣が指定する教育訓練を受講し、修了した場合に、その費用の一部を雇用保険により支給。

	専門実践教育訓練給付 (H26.10～) ＜特に労働者の中長期的キャリア形成に資する教育訓練を対象＞	特定一般教育訓練給付 (R元.10～) ＜特に労働者の速やかな再就職及び早期のキャリア形成に資する教育訓練を対象＞	一般教育訓練給付 (H10.12～) ＜左記以外の雇用の安定・就職の促進に資する教育訓練を対象＞
給付内容	<p><u>受講費用の50% (上限年間40万円)</u> を6か月ごとに支給。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>追加給付①: 1年以内に資格取得・就職等 ⇒<u>受講費用の20% (上限年間16万円)</u></li> <li>追加給付②: 訓練前後で賃金が5%以上上昇(※1) ⇒<u>受講費用の10% (上限年間8万円)</u></li> </ul>	<p><u>受講費用の40% (上限20万円)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>追加給付: 1年以内に資格取得・就職等(※1) ⇒<u>受講費用の10% (上限5万円)</u></li> </ul>	<p><u>受講費用の20% (上限10万円)</u></p>
支給要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>在職者又は離職後1年以内</u> (妊娠、出産、育児、疾病、負傷等で教育訓練給付の対象期間が延長された場合は最大20年以内) の者</li> <li>○ <u>雇用保険の被保険者期間3年以上</u> (初回の場合、専門実践教育訓練給付は<u>2年以上</u>、特定一般教育訓練給付・一般教育訓練給付は<u>1年以上</u>)</li> </ul>		
講座数	3,011講座 (山形県: 7講座)	801講座 (山形県: 25講座)	12,111講座 (山形県: 324講座)
受給者数	36,324人 (初回受給者数) (山形県: 148人)	3,670人 (山形県: 42人)	76,257人 (山形県: 614人)
講座指定要件	<p><u>次のいずれかの類型に該当し、かつ就職率等の要件を満たすもの</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 業務独占資格又は名称独占資格に係る養成施設の課程</li> <li>② 専門学校の職業実践専門課程及びキャリア形成促進プログラム <b>文部科学省連携</b></li> <li>③ 専門職大学院の課程</li> <li>④ 大学等の職業実践力育成プログラム <b>文部科学省連携</b></li> <li>⑤ 第四次産業革命スキル習得講座等の課程 (ITSSレベル3以上) (※2) <b>経済産業省連携</b></li> <li>⑥ 専門職大学・専門職短期大学・専門職学科の課程</li> </ol>	<p><u>次のいずれかの類型に該当し、かつ就職率等の要件を満たすもの</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 業務独占資格、名称独占資格若しくは必置資格に係る養成施設の課程又はこれらの資格の取得を訓練目標とする課程等</li> <li>② 一定レベル (ITSSレベル2) の情報通信技術に関する資格取得を目標とする課程 (※2)</li> <li>③ 短時間の職業実践力育成プログラム及びキャリア形成促進プログラム <b>文部科学省連携</b></li> </ol>	<p><u>次のいずれかの類型に該当する教育訓練</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 公的職業資格又は修士若しくは博士の学位等の取得を訓練目標とするもの</li> <li>② ①に準じ、訓練目標が明確であり、訓練効果の客観的な測定が可能なもの民間職業資格の取得を訓練目標とするもの等</li> </ol>

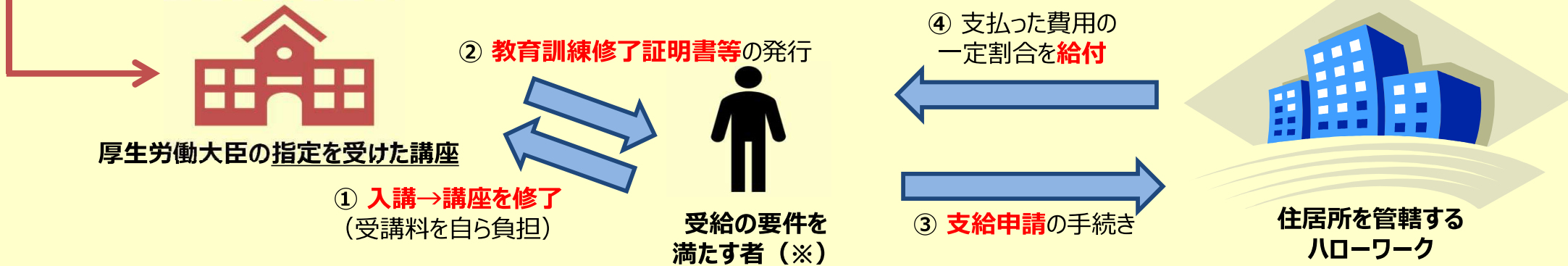
(注) 講座数は2024年10月時点、受給者数は2023年度実績 (速報値)。(※1) 2024年10月1日以降に受講開始した者について適用。(※2) 2024年10月1日付け指定から適用。 8

# 教育訓練給付の指定申請等の概要

## 1. 教育訓練給付の対象講座になるまでの流れ



## 2. 教育訓練給付を受給するまでの流れ



(※) 特定一般教育訓練・専門実践教育訓練については、講座の受講開始1ヶ月前までに、訓練前キャリアコンサルティングを受け、ジョブ・カードを作成し、ハローワークにおいて、受給資格確認を行うことが必要

# 教育訓練給付の講座指定の対象となる主な資格・試験など

**専門実践教育訓練給付**  
 最大で受講費用の80%〔年間上限64万円〕を受講者に支給（※1）

**特定一般教育訓練給付**  
 受講費用の50%〔上限25万円〕を受講者に支給（※2）

**一般教育訓練給付**  
 受講費用の20%〔上限10万円〕を受講者に支給

※1 2024年9月までに開講する講座は最大で受講費用の70%（年間上限56万円）を支給  
 ※2 2024年9月までに開講する講座は最大で受講費用の40%（上限20万円）を支給

## 輸送・機械運転関係

大型自動車第一種・第二種免許  
 中型自動車第一種・第二種免許  
 大型特殊自動車免許  
 準中型自動車第一種免許  
 普通自動車第二種免許  
 フォークリフト運転技能講習  
 けん引免許  
 車両系建設機械運転・玉掛・小型移動式クレーン・高所作業車運転・床上操作式クレーン・不整地運搬車運転技能講習  
 移動式クレーン運転士免許  
 クレーン・デリック運転士免許  
 一等無人航空機操縦士

## 専門的サービス関係

キャリアコンサルタント  
 社会保険労務士試験  
 ファイナンシャル・プランニング技能検定試験  
 行政書士、税理士  
 中小企業診断士試験  
 通関士、マンション管理士試験  
 司法書士、弁理士  
 気象予報士試験  
 土地家屋調査士  
 司書・司書補  
 産業カウンセラー試験  
 公認内部監査人認定試験

## 医療・社会福祉・保健衛生関係

介護福祉士（介護福祉士実務者研修を含む）  
 社会福祉士  
 保育士  
 看護師、准看護師、助産師  
 精神保健福祉士、はり師  
 柔道整復師、歯科衛生士  
 歯科技工士、理学療法士  
 作業療法士、言語聴覚士  
 栄養士、管理栄養士  
 保健師、美容師、理容師  
 あん摩マッサージ指圧師  
 きゅう師、臨床工学技士  
 視能訓練士  
 臨床検査技師  
 主任介護支援専門員研修  
 介護支援専門員実務研修  
 介護職員初任者研修  
 特定行為研修  
 喀痰吸引等研修  
 福祉用具専門相談員  
 登録販売者  
 衛生管理者免許試験  
 医療事務技能審査試験  
 医療事務認定実務者（R）試験  
 調剤薬局事務検定試験  
 健康管理士一般指導員資格認定試験  
 メンタルヘルス・マネジメント検定試験

## 営業・販売関係

調理師  
 宅地建物取引士資格試験  
 インテリアコーディネーター  
 パーソナルカラー検定  
 ソムリエ呼称資格認定試験  
 国内旅行業務取扱管理者試験

## 技術関係

測量士補、電気工事士  
 航空運航整備士  
 自動車整備士  
 海技士  
 電気主任技術者試験  
 建築士  
 技術士  
 土木施工管理技術検定  
 建築施工管理技術検定  
 管工事施工管理技術検定  
 電気通信工事担任者試験

## 製造関係

製菓衛生師  
 パン製造技能検定試験

## 大学・専門学校等の講座関係

職業実践専門課程  
 （商業実務、文化、工業、衛生、動物、情報、デザイン、自動車整備、土木・建築、スポーツ、旅行、服飾・家政、医療、経理・簿記、電気・電子、ビジネス、社会福祉、農業など）  
 職業実践力育成プログラム  
 （保健、社会科学、工学・工業など）  
 キャリア形成促進プログラム  
 （医療、文化教養、商業実務関係）  
 専門職学位  
 （ビジネス・MOT、教職大学院、法科大学院など）  
 短時間の職業実践力育成プログラム  
 （人文科学・人文）  
 短時間のキャリア形成促進プログラム  
 （文化教養関係）  
 修士・博士  
 履修証明  
 科目等履修生

## 情報関係

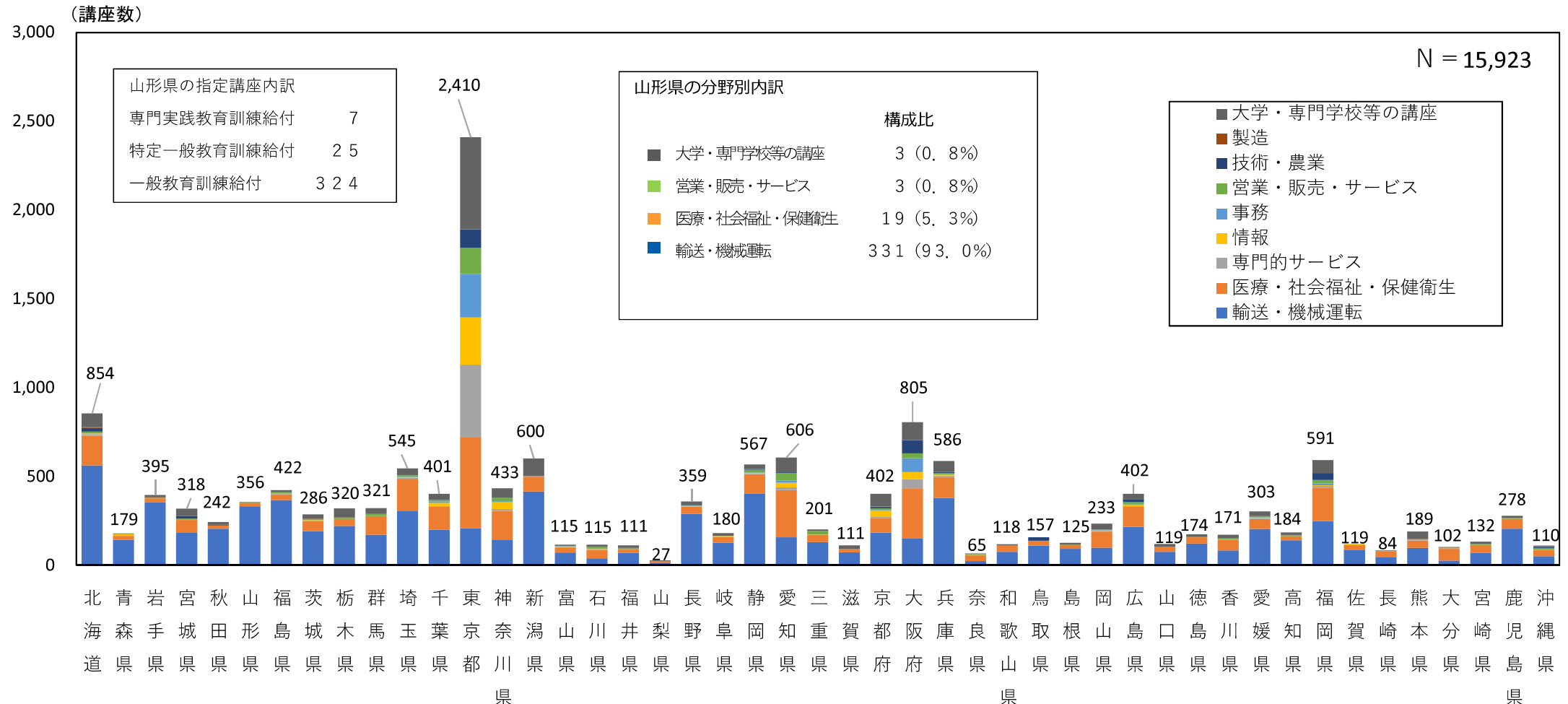
第四次産業革命スキル習得講座  
 ITSSLレベル3以上の資格取得を目指す講座  
 （シスコ技術者認定資格等）  
 ITSSLレベル2の資格取得を目指す講座  
 （基本情報技術者試験等）  
 ITパスポート  
 Webクリエイター能力認定試験  
 Illustratorクリエイター能力認定試験  
 CAD利用技術者試験

## 事務関係

登録日本語教員  
 Microsoft Office Specialist 365  
 VBAエキスパート  
 簿記検定試験（日商簿記）  
 日本語教員、IELTS  
 日本語教育能力検定試験  
 実用英語技能検定（英検）  
 TOEIC、VERSANT、TOEFL iBT  
 中国語検定試験  
 HSK漢語水平考試  
 「ハングル」能力検定  
 建設業経理検定

# 指定講座の状況（訓練機関の所在地・分野別）（令和6年10月1日時点）

- 地域によって指定講座数にばらつきがみられるが、最も多い東京都が約2,400講座と全体の約15%を占め、続いて北海道、大阪府、愛知県、新潟県の順に多くなっている。
- 東京都の指定講座を分野別にみると、特に「専門的サービス関係」「情報関係」「技術関係」では指定講座の約5割が東京都の教育訓練機関により実施されている。



※ 訓練機関の所在地別で集計しており、一の訓練機関が同一の講座を複数箇所で開催している場合、開講箇所数に関わらず訓練機関の所在する都道府県に1講座計上している。

資料出所：厚生労働省「教育訓練給付の指定講座に係る行政記録情報」より若年者・キャリア形成支援担当参事官室で作成

# 山形県における指定講座の状況（訓練機関の所在地別・主な資格別） （令和6年10月1日時点）

		全国				山形県			
		計	専門実践	特定一般	一般	計	専門実践	特定一般	一般
輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許	2,590	－	131	2,459	140	－	10	130
	中型自動車第一種免許	1,794	－	80	1,714	53	－	4	49
	準中型自動車第一種免許	846	－	49	797	24	－	0	24
	大型特殊自動車免許	698	－	25	673	31	－	5	26
	大型自動車第二種免許	643	－	36	607	43	－	3	40
	フォークリフト運転技能講習	303	－	3	300	1	－	0	1
	けん引免許	385	－	14	371	16	－	0	16
	その他	874	－	30	844	23	－	2	21
小 計		<b>8,133</b>	<b>0</b>	<b>368</b>	<b>7,765</b>	<b>331</b>	<b>0</b>	<b>24</b>	<b>307</b>
医療・社会福祉・保健衛生関係	医療事務技能審査試験	6	－	－	6	0	－	－	0
	介護福祉士（実務者研修含む）	1,443	291	18	1,134	13	0	0	13
	介護支援専門員	193	－	143	50	0	－	0	0
	喀痰吸引等研修修了	63	－	21	42	0	－	0	0
	介護職員初任者研修	287	－	79	208	1	－	1	0
	看護師	302	289	0	13	4	3	0	1
	特定行為研修	333	－	86	247	0	－	0	0
	社会福祉士	165	121	6	38	0	0	0	0
	保育士	121	108	2	11	0	0	0	0
	精神保健福祉士	117	93	0	24	0	0	0	0
	歯科衛生士	125	121	0	4	1	1	0	0
	その他	571	421	10	140	0	0	0	0
	小 計		<b>3,726</b>	<b>1,444</b>	<b>365</b>	<b>1,917</b>	<b>19</b>	<b>4</b>	<b>1</b>
専門的サービス関係	税理士	218	－	0	218	0	－	0	0
	社会保険労務士試験	112	－	1	111	0	－	0	0
	行政書士	44	－	0	44	0	－	0	0
	その他	183	22	0	161	0	0	0	0
小 計		<b>557</b>	<b>22</b>	<b>1</b>	<b>534</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

# 山形県における指定講座の状況（訓練機関の所在地別・主な資格別） （令和6年10月1日時点）

		全国				山形県			
		計	専門実践	特定一般	一般	計	専門実践	特定一般	一般
情報関係	Microsoft Office Specialist	80	-	-	80	0	-	-	0
	CAD利用技術者試験	20	-	-	20	0	-	-	0
	Webクリエイター能力認定試験	48	-	-	48	0	-	-	0
	第四次産業革命スキル習得講座	201	201	-	-	0	0	-	-
	その他	143	5	15	123	0	0	0	0
	小計	492	206	15	271	0	0	0	0
事務関係	TOEIC	148	-	-	148	0	-	-	0
	簿記検定試験（日商簿記）	81	-	-	81	0	-	-	0
	中国語検定試験	32	-	-	32	0	-	-	0
	「ハングル」能力検定	5	-	-	5	0	-	-	0
	実用フランス語技能検定試験	4	-	-	4	0	-	-	0
	日本語教員	53	-	-	53	0	-	-	0
	その他	79	-	-	79	0	-	-	0
	小計	402	0	0	402	0	0	0	0
営業・販売・サービス関係	宅地建物取引士資格試験	113	-	7	106	0	-	0	0
	その他	369	297	0	72	3	3	0	0
	小計	482	297	7	178	3	3	0	0
製造関係		31	11	0	20	0	0	0	0
	小計	31	11	0	20	0	0	0	0
技術・農業関係	建築士	60	-	0	60	0	-	0	0
	建築施工管理技術検定	52	-	0	52	0	-	0	0
	土木施工管理技術検定	50	-	0	50	0	-	0	0
	その他	155	20	4	131	0	0	0	0
	小計	317	20	4	293	0	0	0	0
大学・専門学校等の講座関係	修士・博士	680	-	-	680	3	-	-	3
	キャリア形成促進プログラム	9	8	1	-	0	0	0	-
	職業実践専門課程	668	668	-	-	0	0	-	-
	職業実践力育成プログラム	254	214	40	-	0	0	0	-
	専門職大学院	121	119	-	2	0	0	-	0
	科目等履修生	15	-	-	15	0	-	-	0
	履修証明	34	-	-	34	0	-	-	0
	その他	2	2	0	-	0	0	0	-
	小計	1,783	1,011	41	731	3	0	0	3
	合計	15,923	3,011	801	12,111	356	7	25	324

# 都道府県別の教育訓練給付の受給者数・支給額について（令和4年度）

- 居住地別の受給者数について、専門実践教育訓練給付初回受給者、特定一般及び一般教育訓練給付受給者の合計は約11万7千人となっており、最も多い東京では約1万8千人で全体に占める受給者割合は約15%となっている。
- 都道府県別の教育訓練給付の受給者数・支給額（2022年度）

都道府県番号	都道府県名	専門実践（初回受給者数） （※1）	専門実践（延べ受給者数） （※2）	支給額（千円）	特定一般＋一般	支給額（千円）	都道府県番号	都道府県名	専門実践（初回受給者数） （※1）	専門実践（延べ受給者数） （※2）	支給額（千円）	特定一般＋一般（受給者数）	支給額（千円）
1	北海道	1,380	3,431	389,441	3,816	273,308	25	滋賀県	318	702	99,725	726	58,234
2	青森県	234	702	73,896	595	61,944	26	京都府	642	1,741	289,030	1,616	286,104
3	岩手県	295	605	55,629	983	41,382	27	大阪府	3,002	8,051	1,208,116	5,905	737,137
4	宮城県	407	1,094	160,285	1,354	112,512	28	兵庫県	1,709	4,403	620,135	3,803	479,161
5	秋田県	178	411	31,559	588	10,950	29	奈良県	378	926	116,608	681	101,747
6	山形県	155	409	43,506	702	27,934	30	和歌山県	174	385	42,780	637	25,239
7	福島県	271	707	84,568	1,118	91,299	31	鳥取県	89	273	36,817	344	33,434
8	茨城県	612	1,677	216,920	1,448	186,410	32	島根県	121	353	43,623	373	45,572
9	栃木県	454	1,196	149,356	1,182	114,921	33	岡山県	408	1,020	120,145	1,223	136,034
10	群馬県	508	1,554	197,209	1,218	152,376	34	広島県	699	1,902	219,840	1,935	184,859
11	埼玉県	2,316	6,205	979,814	5,019	706,295	35	山口県	268	724	73,401	725	41,710
12	千葉県	1,605	4,397	663,289	3,885	355,656	36	徳島県	146	339	38,071	425	29,540
13	東京都	6,349	17,303	3,125,375	11,456	1,573,229	37	香川県	268	916	125,619	559	145,662
14	神奈川県	3,503	8,522	1,297,631	6,501	632,835	38	愛媛県	422	996	110,033	787	107,543
15	新潟県	343	888	128,356	1,672	145,172	39	高知県	121	450	66,650	420	95,393
16	富山県	152	301	32,304	537	10,429	40	福岡県	1,650	4,912	656,617	2,902	621,736
17	石川県	222	554	58,305	461	50,776	41	佐賀県	298	1,148	135,329	350	81,544
18	福井県	166	333	26,327	516	11,916	42	長崎県	314	894	93,452	449	55,109
19	山梨県	126	354	40,548	269	46,775	43	熊本県	418	1,257	146,517	1,060	132,614
20	長野県	380	885	97,055	1,315	73,360	44	大分県	271	830	99,166	564	74,812
21	岐阜県	285	985	123,481	1,032	117,292	45	宮崎県	294	923	105,227	544	63,107
22	静岡県	796	1,894	216,841	2,239	169,667	46	鹿児島県	457	1,328	155,077	720	168,909
23	愛知県	1,848	4,766	717,814	4,988	601,272	47	沖縄県	511	1,743	240,269	564	260,519
24	三重県	343	912	115,924	1,076	104,312		全国計	35,906	96,301	13,829,376	81,282	9,628,770

（※1）（※2）：専門実践教育訓練給付は6月ごとに支給している。「専門実践（初回受給者数）」は2022年度に1回目の支給を受けた者。「専門実践（延べ受給者数）」は2022年度中に支給を受けた延べ人数。

（注）：全国計は決算値であり、各都道府県分は業務統計値であるため、各都道府県の合計は全国計に一致しない。

## 専門実践教育訓練給付 指定講座一覧(令和6年10月1日時点)

	施設名	施設住所	実施者名	講座名	実施方法	訓練期間	分類	目標資格
1	国立病院機構山形病院附属看護学校	山形市	独立行政法人 国立病院機構	看護学科	通学	36ヵ月	医療・社会福祉・保健衛生関係	看護師
2	酒田市立酒田看護専門学校	酒田市	酒田市	看護学科	通学	36ヵ月	医療・社会福祉・保健衛生関係	看護師
3	三友堂看護専門学校	米沢市	一般財団法人 三友堂病院	看護学科(3年課程)	通学	36ヵ月	医療・社会福祉・保健衛生関係	看護師
4	山形歯科専門学校	山形市	一般社団法人 山形県歯科医師会	歯科衛生士科	通学	36ヵ月	医療・社会福祉・保健衛生関係	歯科衛生士
5	山形調理師専門学校	山形市	学校法人 羽陽学園	調理師科	通学	12ヵ月	営業・販売・サービス関係	調理師
6	酒田調理師専門学校	酒田市	学校法人 天真林昌学園	調理科	通学	12ヵ月	営業・販売・サービス関係	調理師
7	山形美容専門学校	山形市	学校法人 薬師の杜学園	美容科	通学	24ヵ月	営業・販売・サービス関係	美容師



## 特定一般教育訓練給付 指定講座一覧(令和6年10月1日時点)

	施設名	施設住所	実施者名	講座名	実施方法	訓練期間	分類	目標資格
1	介護・看護求人支援センター山形	山形市	株式会社 Y-next	介護職員初任者研修	通信	3か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護職員初任者研修
2	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型車コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許
3	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型車(中型8t限定)コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許
4	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型車(中型8t限定)+大型特殊車コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許
5	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型車+大型特殊車コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許
6	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型車(準中型5t限定)コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許
7	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型車(準中型5t限定)+大型特殊車コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許
8	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型車(中型)コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許
9	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型車(準中型)コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許
10	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型二種コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第二種免許
11	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型二種(中型8t限定)コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第二種免許
12	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型二種(普通免許、準中型5t限定)コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第二種免許
13	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型特殊車コース	通学	1か月	輸送・機械運転関係	大型特殊自動車免許
14	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型特殊車+フォークリフトコース	通学	1か月	輸送・機械運転関係	大型特殊自動車免許

## 特定一般教育訓練給付 指定講座一覧(令和6年10月1日時点)

	施設名	施設住所	実施者名	講座名	実施方法	訓練期間	分類	目標資格
15	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型特殊車+けん引コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型特殊自動車免許
16	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	大型特殊車+車両系コース	通学	1か月	輸送・機械運転関係	大型特殊自動車免許
17	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	中型車コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	中型自動車第一種免許
18	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	中型(準中型5t限定)コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	中型自動車第一種免許
19	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	中型車(準中型)コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	中型自動車第一種免許
20	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	普通二種(準中型5t限定)コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	普通自動車第二種免許
21	寒河江自動車学校	寒河江市	株式会社 寒河江自動車学校	普通二種コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	普通自動車第二種免許
22	鶴岡自動車学園	鶴岡市	株式会社 鶴岡自動車学園	大型一種+大特+けん引(中型8t所持)コース	通学	2か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許
23	鶴岡自動車学園	鶴岡市	株式会社 鶴岡自動車学園	大型一種(中型8t所持)コース	通学	1か月	輸送・機械運転関係	大型自動車第一種免許
24	鶴岡自動車学園	鶴岡市	株式会社 鶴岡自動車学園	大型特殊(普通以上所持)コース	通学	1か月	輸送・機械運転関係	大型特殊自動車免許
25	鶴岡自動車学園	鶴岡市	株式会社 鶴岡自動車学園	中型一種(準中型5t所持)コース	通学	1か月	輸送・機械運転関係	中型自動車第一種免許

## 一般教育訓練給付 指定講座一覧(令和6年10月1日時点)

	施設名	施設住所	実施者名	講座名	実施方法	訓練期間	分類	目標資格
医療・社会福祉・保健衛生関係 14講座								
1	株式会社 セラフィム	山形市	株式会社 セラフィム	介護福祉士実務者研修課程通信コース(初任者研修修了者)	通信	6か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
2	あらた介護福祉士実務者養成学校	酒田市	イデアルファーク株式会社	介護福祉士実務者研修(介護職員基礎研修修了者コース)	通信	6か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
3	あらた介護福祉士実務者養成学校	酒田市	イデアルファーク株式会社	介護福祉士実務者研修(ホームヘルパー1級課程修了者コース)	通信	6か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
4	あらた介護福祉士実務者養成学校	酒田市	イデアルファーク株式会社	介護福祉士実務者研修(ホームヘルパー2級課程修了者コース)	通信	6か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
5	あらた介護福祉士実務者養成学校	酒田市	イデアルファーク株式会社	介護福祉士実務者研修(介護職員初任者研修修了者コース)	通信	6か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
6	あらた介護福祉士実務者養成学校	酒田市	イデアルファーク株式会社	介護福祉士実務者研修(ホームヘルパー3級課程修了者コース)	通信	6か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
7	あらた介護福祉士実務者養成学校	酒田市	イデアルファーク株式会社	介護福祉士実務者研修(無資格者コース)	通信	6か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
8	介護・看護求人支援センター山形	山形市	株式会社 Y-next	介護福祉士実務者研修 無資格	一部eラーニング	6か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
9	介護・看護求人支援センター山形	山形市	株式会社 Y-next	介護福祉士実務者研修 ヘルパー2級	一部eラーニング	2か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
10	介護・看護求人支援センター山形	山形市	株式会社 Y-next	介護福祉士実務者研修 初任者研修	一部eラーニング	2か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
11	介護・看護求人支援センター山形	山形市	株式会社 Y-next	介護福祉士実務者研修 基礎研修	一部eラーニング	1か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
12	松風会介護福祉士実務者養成研修	高畠町	社会福祉法人 松風会	介護福祉士実務者養成研修(無資格者)	通信	9か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
13	松風会介護福祉士実務者養成研修	高畠町	社会福祉法人 松風会	介護福祉士実務者養成研修(初任者研修修了者)	通信	9か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	介護福祉士実務者養成研修
14	鶴岡市立荘内看護専門学校	鶴岡市	鶴岡市	看護師養成講座	通学	36か月	医療・社会福祉・保健衛生関係	看護師
大学・専門学校等の講座関係 3講座								
15	山形大学大学院	山形市	国立大学法人 山形大学	医学系研究科看護学専攻	通学	24か月	大学・専門学校等の講座関係	修士・博士
16	山形大学大学院	山形市	国立大学法人 山形大学	理工学研究科建築・デザイン・マネジメント専攻	通学	24か月	大学・専門学校等の講座関係	修士・博士
17	東北公益文科大学大学院	鶴岡市	学校法人 東北公益文科大学	公益学研究科公益学専攻修士課程	通学	24か月	大学・専門学校等の講座関係	修士・博士
輸送・機械運転関係 307講座 ※								
総 計		324講座						

※輸送・機械運転関係 307講座

分類 (輸送・機械運転関係)	実施者名 施設名 施設住所																							
	株式会社 けんなん	株式会社 マツキ								株式会社 関東自動 車学校	株式会社 国際自動 車教習所	株式会社 出羽自動 車教習所	株式会社 庄交コー ポレー ション	株式会社 藤王自動 車学園	株式会社 鳥海学園	株式会社 鶴岡自動 車学園	株式会社 米沢自動 車学校	黒井産業 株式会社	農機連株 式会社	随上貨物 運送事業 労働災害 防止協会	総計	施設数		
	黒南自動 車学校	マツキド ライピン グスター ルさくらん ぼ校	マツキド ライピン グスター ル山形中 央校	マツキド ライピン グスター ル赤通校	マツキド ライピン グスター ル村山校	マツキド ライピン グスター ル太陽校	マツキド ライピン グスター ル長井校	マツキド ライピン グスター ル白鷹校	マツキド ライピン グスター ル米沢松 崎校	関東自動 車学校	山形最上 ドライブ ングスター ル	出羽自動 車教習所	庄交学園 自動車教 習所	藤王自動 車学園	鳥海自動 車学園	鶴岡自動 車学園	米沢ドラ イピング スクール	東根自動 車学校	農機連自 動車学校	随上貨物 運送事業 労働災害 防止協会 山形県支 部				
目標資格	高島町	村山市	山形市	南陽市	村山市	山形市	長井市	西置賜郡	米沢市	東田川郡	新庄市	酒田市	鶴岡市	山形市	酒田市	鶴岡市	米沢市	東根市	山形市	天童市				
大型自動車第一種免許	11	13			18	18		32	14		7		7			7	3				130	10		
中型自動車第一種免許	1	3			6	6	6		3	3	4	6	2	3		1	1		4		49	14		
大型自動車第二種免許	5	8			15				7				2			3					40	6		
大型特殊自動車免許	1	1		1	2	2		2	1		3	6	1	1	2	1		1	1		26	15		
準中型自動車第一種免許	1	1			2	2	5		3		1	5		1			1	1	1		24	12		
普通自動車第二種免許			2	1	4		4		2		2		1	1		1	1				19	10		
けん引免許	1	2		1	1	1		1	2	2	2	1			1	1					16	12		
中型自動車第二種免許		1																				1	1	
フォークリフト運転技能講習																						1	1	1
小型移動式クレーン技能講習 玉掛技能講習											1											1	1	1
<b>総計</b>	<b>20</b>	<b>29</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>48</b>	<b>29</b>	<b>15</b>	<b>35</b>	<b>32</b>	<b>5</b>	<b>20</b>	<b>18</b>	<b>13</b>	<b>6</b>	<b>3</b>	<b>14</b>	<b>6</b>	<b>2</b>	<b>6</b>	<b>1</b>	<b>307</b>			



## 令和5年度地域リスキリング推進事業 一覧表（山形県）

事業実施地方公 共同体名	事業名	事業概要					事業実績
		事業費(千円)	実施主体	対象者	内容	備考	受講者、制度利用者数、補助金交付件数、金額等
酒田市	酒田市リカレント教育促進補助金（大学まちづくり推進事業）	215	酒田市	市内企業従事者	学校法人東北公益文科大学が実施する履修証明プログラム又は山形県立産業技術短期大学校庄内校が実施する社会人向け公開講座の受講に要した経費の2分の1を補助するもの		補助金交付件数：7件 補助金額：22千円
新庄市	「DX人材育成講座」実施事業	1,970	新庄市	中小企業	DX人材を求める企業を対象とした、「IT実践コース」「ITパスポート試験対策講座」「G検定試験対策講座」の3コースの講座実施を学校法人最上広域コア学園へ業務委託		事業総額：840千円（業務委託料） 特定財源：112千円（受講者負担受講料） 講座実施を予定していた3コースについて受講者募集を行った結果、ニーズのあった「IT実践コース」のみを開催することとなった。受講対象者は新庄市内に立地する企業及び事業所に勤務する方とし、受講者延べ人数は15名となった。
寒河江市	さがえ未来人材育成支援事業	5,000	寒河江市	市内中小企業	市内の中小企業者等が、新たな分野や技術に挑戦する産業人材を育成するため、大学等への従業員の派遣、社内外での研修の開催等を通して人材を育成する取り組みを支援		交付件数：研修事業1件 75千円
尾花沢市	中小企業者等戦略的人材育成支援事業	1,000	尾花沢市	事業主	新型コロナウイルス感染症の影響により明らかとなった経営課題を改善し、アフターコロナにおける新たな事業展開や取引拡大、生産性の向上等自社の経営の向上に向けた人材育成事業に取り組むことを支援するため、その事業に必要な費用について補助		実績無し
尾花沢市	資格取得促進助成金事業	1,350	尾花沢市	事業主	本市に住所を有する事業所の、技術力向上及び安定した就労支援のため、就労者が資格及び免許の取得に要する経費の一部に対し補助		20事業所 1,403千円
金山町	金山町資格取得支援事業	1,500	金山町	町民	国家資格や国家検定の取得経費の2分の1を補助（一人当たり上限80千円）		補助金交付件数：25件 交付額：1,137千円
金山町	農業用ドローン資格取得支援事業	400	金山町	農業者	農業用ドローン資格取得に係る経費の2分の1を補助（上限：個人100千円、団体200千円）		補助金交付件数：1件 交付額：100千円
金山町	町内企業向けDX推進プログラム制作事業	2,900	金山町	事業主	令和6年度に実施予定の町内事業所向けDX研修プログラムの作成		事業内容の変更により町内事業所向けDX研修プログラムの作成は見送り
白鷹町	就労環境改善対策事業	85	白鷹町	事業主	経営者・人事担当者向けの働きやすい職場づくりに向けた啓発セミナーの開催		セミナー受講者数：7名 講師報酬費：50千円
白鷹町	専門家派遣支援事業	1,500	白鷹町	事業主	直面する経営課題等に相談対応を行う専門家の派遣や、インボイス等新制度への対応に係るセミナーの開催		専門家派遣：13件 個別相談会参加数：16件 セミナー受講者数：17名 委託料：681千円
白鷹町	中小企業技術者養成事業	200	白鷹町	従業員	技能検定受講に向けた講習会や、人材育成のための若手従業員等セミナーの開催		技能検定講習会受講者数：2名、 技術講習会受講者数：10名 委託料：200千円
白鷹町	除雪担い手育成事業	300	白鷹町	事業主	除雪車両オペレーターの育成を支援（大型特殊免許等の取得支援）		補助金交付件数：2件（3名） 交付額：111千円
山形県	産業政策リーダー育成事業費	5,435	山形県	①県職員、 ②民間企業若手幹部社員、 ③産業支援機関	製造業路取り巻く環境が激変している中、官民の若手人材を対象に、海外研修を実施し、自由な発想や働き方、チャレンジ精神などを学ぶことで、新しいビジネスを創出し、次の時代を牽引するリーダーを育成する。		（実施） 令和5年10月8日～10月13日 （対象者） 県職員6名、民間企業若手職員幹部社員4名、産業支援機関職員1名（計11名） （研修先） アメリカ合衆国（シリコンバレー） （訪問先） スタンフォード大学、Google、Intel、Plug&play など 事業費：8,345千円

山形県	次世代水産人材創出支援事業費	32,093	山形県	新規漁業 就業希望 者	<p>①本県の漁業の魅力や、新規漁業就業者確保の支援制度を県内外に広くPRするため、オンラインセミナーを開催する。また、漁業就業支援フェア等へ参加する山形県漁業協同組合に対し、補助金を交付。</p> <p>②漁業研修受講希望者に漁業体験を実施し、漁業就業の動機づけや定着率の強化を図る。また、高校生を対象に漁業アルバイト体験を実施する山形県漁業協同組合に対し、補助金を交付。</p> <p>③新規漁業就業希望者に対し、漁業の基本的な技術や知識の取得を支援する研修体制を整備し、漁業準備研修を実施する山形県漁業協同組合に対し、補助金を交付。</p> <p>④漁家出身者（漁家子弟）に対し、漁業準備研修を実施する山形県漁業協同組合に対し、補助金を交付。</p> <p>⑤漁業技術の高度化研修を実施する山形県漁業協同組合に対し、補助金を交付。</p> <p>⑥経営が不安定な独立経営開始後3年目までの漁業者に対して、所得補償を実施する山形県漁業協同組合に対し、補助金を交付。</p>	<p>①未実施</p> <p>②漁業体験受講者数（0名） アルバイト体験人数（0名）</p> <p>③漁業準備研修受講者（3名）</p> <p>④漁家子弟を対象とした漁業準備研修受講者0名）</p> <p>⑤漁業技術高度化研修受講者（0名）</p> <p>⑥支援対象者（5名）</p>
山形県	漁業生産体制強化対策事業費 （G1 漁業者育成事業）	397	山形県	漁業者	<p>漁業の担い手の確保を推進するため、漁業者活動支援、将来の後継者育成及び漁業士活動支援を行う。中高校生を対象に漁業体験活動を実施。</p>	<p>少年水産教室受講者（中学生63名） 体験漁業（水産高校生24名）</p>
山形県	建設DX推進事業費 （うち、施工業者に向けた取組み）	389	山形県	施工業者	<p>①ICT施工未経験の担当技術者向けに、官民の研修施設へ派遣する研修を実施</p> <p>②ICT施工経験済の担当技術者向けに、ICT施工に習熟した施工業者とICT建機メーカーを講師とした実務研修を実施</p> <p>③ICT施工を導入していない経営者向けに、ICT施工について理解を深めてもらう講習会を実施</p>	<p>①民間施工会社 8名</p> <p>②民間施工会社 45名</p> <p>③民間施工会社 43名</p> <p>244千円</p>

## 令和6年度地域リスキリング推進事業 一覧表（山形県）

実施自治体名	事業名	事業概要			
		事業費(千円)	対象者	内容	備考
寒河江市	寒河江市さがえ未来人材育成支援事業補助金	2,900	事業主	市内の中小企業者等が社会構造の変化や社会課題等の解決に対応するために、新しい分野や技術に挑戦する産業人材を育成するための事業に対して補助金を交付	
村山市	村山市資格取得支援事業	680	就労者・求職者	・従業員（在職者）の理解促進・リスキリング支援 資格・免許等の取得に要する費用の補助	
尾花沢市	中小企業者等戦略的人材育成支援事業	1,000	事業主	新型コロナウイルス感染症の影響により明らかとなった経営課題を改善し、アフターコロナにおける新たな事業展開や取引拡大、生産性の向上等自社の経営の向上に向けた人材育成事業に取り組むことを支援するため、その事業に必要な費用について補助	
尾花沢市	資格取得促進助成金事業	1,350	事業主	本市に住所を有する事業所の、技術力向上及び安定した就労支援のため、就労者が資格及び免許の取得に要する経費の一部に対し補助	
大江町	大江町企業人材スキルアップ支援事業	700	事業所	大江町企業人材スキルアップ支援事業補助金の交付 概要：事業主・従業員が業務の遂行に必要な資格や技能を取得するための受験料や受講料を負担する事業所に対し、補助金を交付（中小企業に限らない） 対象経費：受験料、受講料 補助金額：補助対象経費の1/2以内、限度額10万円	
大石田町	大石田町資格取得支援事業助成金	450	町内事業所又は町内在住者（就労者・求職者）	本町への定住促進と町内事業所又は町内在住者がのスキルアップを支援するため、目的とした資格又は免許の取得に要する経費の一部に対し、助成金を交付	
金山町	金山町資格取得支援事業	1,500	事業主等	国家資格や国家検定の取得経費の2分の1を補助（一人当たり上限80千円）	
金山町	農業用ドローン資格取得支援事業	300	農業者	農業用ドローン資格取得に係る経費の2分の1を補助（上限：個人100千円、団体200千円）	
最上町	最上町人材育成支援事業	900	町内企業に勤務する同労働者求職者	求職者の雇用を促進するとともに、町内事業所に勤務する労働者の技能向上や離職者の再就職等、最上町の産業振興を担う人材育成を支援するために、就職や仕事に必要な資格又は免許取得の費用を補助	
白鷹町	就労環境改善対策事業	85	事業主	経営者・人事担当者向けの働きやすい職場づくりに向けた啓発セミナーの開催	
白鷹町	専門家派遣支援事業	1,500	事業主	直面する経営課題等に相談対応を行う専門家の派遣や、新制度への対応等に係るセミナーの開催	
白鷹町	中小企業技術者養成事業	200	従業員	技能検定受講に向けた講習会や、人材育成のための若手従業員等セミナーの開催	

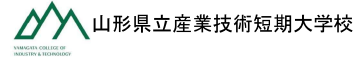


白鷹町	伝統工芸文化人材育成事業	1,495	事業者	伝統工芸の技術保持者が新規従事者に対し技術・技法の指導を行う事業への支援（伝統工芸職の技術習得に係るリスクリング支援）	
白鷹町	公共交通運転手確保事業	450	事業主	公共交通運転手の育成支援（2種免許及び大型免許の取得支援）	
白鷹町	男女共同参画社会推進事業 （うち、事業主・従業員等に向けた取組）	200	団体（うち、事業主・従業員等）	男性の働き方改革や女性の今後のキャリアプランを考える講座等の開催（リスクリングの理解促進）	
白鷹町	除雪担い手育成事業	300	事業主	除雪車両オペレーターの育成を支援（大型特殊免許等の取得支援）	
山形県	産業創造リーダー育成事業費	9,800	①県職員、 ②民間企業若手幹部社員、 ③産業支援機関職員	製造業を取り巻く環境が激変している中、官民の若手人材を対象に海外研修を実施し、自由な発想や働き方、チャレンジ精神などを学ぶことで、新しいビジネスを創出し、次の時代を牽引するリーダーを育成	
山形県	建設DX推進事業費 （うち、施工業者に向けた取組み）	402	施工業者	①ICT施工未経験の担当技術者向けに、官民の研修施設へ派遣する研修を実施 ②ICT施工経験済の担当技術者向けに、ICT施工に習熟した施工業者とICT建機メーカーを講師とした実務研修を実施 ③ICT施工を導入していない経営者向けに、ICT施工について理解を深めてもらう講習会を実施	

# 令和6年度 公開講座のご案内



高度な技術の習得やスキルアップしようと考えている方、少人数制の研修を希望する方を対象に各種講座を開講します。  
ご自身や社員の皆様の技術向上等に、是非ご活用ください！



コース名	Pythonによるコンピューター制御の基礎	日数	2	時間	12
概要	プログラム言語Pythonは、わかりやすい文法が特徴のプログラミング言語であり、ネットワークを利用したデータ送受信やデータ解析を行うことができます。本講座では、Python言語を用いてコンピューター制御の基礎を学び、ネットワーク上の三菱製PLCやArduinoの制御を行います。(最小実施人数2名)	実施日時	8月5日(月) 8月6日(火) 10:00~17:00		
対象者	コンピューター制御(Python)に興味のある方	定員	5	受講料	6,000
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(1)品質管理の基礎	日数	5	時間	15
概要	生産現場のデジタル化の推進には生産性・品質・安全性の向上を図る必要があります。品質向上に取組むためには、現場から管理者まで関わる全ての人が品質管理の考え方を知り、それに基づいて活用できることが必要です。本講座では、現場で使えることを目的に教科書に書かれている内容「品質管理の考え方、データの取り方と見方、QC七つ道具、新QC七つ道具など」について基礎からご説明いたします。また、受講生が希望されれば、現場で発生している品質や品質管理上の課題への対処方法について具体的な検討も行います。(最小実施人数2名)	実施日時	5月15日(水) 5月22日(水) 5月29日(水) 6月5日(水) 6月12日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,900
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(2)生産管理の基礎	日数	5	時間	15
概要	生産現場のデジタル化の推進には生産性・品質・安全性の向上を図る必要があります。生産管理の手間をかせずにを行うためには計画が重要となります。この計画の基礎となるのが、3S(整理・整頓・清掃)、見える化、標準化、工数把握などです。本講座では、生産管理を行う上で基礎となる3Sや標準化などの考え方とその進め方について習得します。また、生産現場の現場を把握し、改善策を考える際に有効なIE手法(工程分析、稼働分析、動作解析)や生産方式の違い(セル生産、ライン生産)についても学びます。座学だけでなく、模擬生産ラインの分析・改善を通して、体験的に生産管理に必要なスキルを習得することができます。(最小実施人数2名)	実施日時	6月19日(水) 6月26日(水) 7月3日(水) 7月10日(水) 7月17日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,900
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(3)ヒューマンエラー防止	日数	5	時間	15
概要	生産現場のデジタル化の推進には生産性・品質・安全性(失敗防止、事故防止など)の向上を図る必要があります。様々な現場においてヒューマンエラーを要因の一つとする事故や損失が発生しており、作業者の安全・品質向上のためにヒューマンエラー防止が大切な課題となっています。本講座では、ヒューマンエラーの防止方法、ヒューマンエラーが発生しても事故が起きない仕組みの構築方法について日常や生産現場の事例に基づいて説明します。また、近年、安全分野では失敗事例だけでなく、成功事例に目を向けることの大切と言われています。そこで、安全分野における最新の取組みについても紹介いたします。さらに、今後の自動化の進展を考慮し、保全についてお話しさせていただきます。(最小実施人数2名)	実施日時	8月21日(水) 8月28日(水) 9月4日(水) 9月11日(水) 9月18日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,900
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(4)コミュニケーションスキル向上とマニュアル作成	日数	5	時間	15
概要	生産改善やデジタル化に向けたいいアイデアを思いついても、それを相手に理解してもらえなければ採用してもらえないのではないだろうか。そのため、現場改善を円滑に進めるためには、コミュニケーション能力が非常に重要となります。本講座では、担当者が行った実験、講義で取り組んできた結果、様々な文献に基づき、誤りなく伝達を行うための会話における説明・確認の仕方、文書によるマニュアルの作成方法を体験的に習得します。そして、組織における効果的な情報共有の方法について説明します。(最小実施人数2名)	実施日時	10月9日(水) 10月16日(水) 10月23日(水) 10月30日(水) 11月6日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,900
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(5)産業用ロボット・シミュレータの活用	日数	6	時間	18
概要	生産現場ではICT(情報通信技術)・IoTなどのデジタル化(DX:デジタルトランスフォーメーション)やロボットの活用が言われています。近年、これらを容易に導入できる機器が多数開発されています。本講座では、最近、本校メカトロニクス科に導入された最新の簡単便利ツールである「からくり装置」、「人協働ロボット」、「簡単制御機器」、「人間行動分析ツール」などの使い方を学び、これらを現場でどのように活用するかについて検討します。(最小実施人数2名)	実施日時	11月13日(水) 11月20日(水) 11月27日(水) 12月4日(水) 12月11日(水) 12月18日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	7,800
コース名	DXを実現するための生産改善セミナー(6)生産改善の進め方	日数	6	時間	18
概要	現場の生産性・品質・安全性向上には、中心的な役割を果たす改善リーダーと改善の必要性を理解したリーダーをサポートする現場作業員が必要となります。本講座では、変化・変動の社会に対応した改善リーダーと改善の必要性を理解した作業員の育成を目的に必要な知識(生産管理などの管理技術、コミュニケーションなどのノンテクニカルスキル)の習得を目指します。改善の進め方の説明に際し、担当講師が実際に取組んだ改善事例(中災防「安全と健康」2020年連載)、人材育成の事例(IE協会「IEレビュー」236号)を中心に紹介します。(最小実施人数2名)	実施日時	1月8日(水) 1月15日(水) 1月22日(水) 1月29日(水) 2月5日(水) 2月19日(水) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	7,800
コース名	生産改善の基礎と発展セミナー(1)【基礎】(経営工学と人間工学リモート)	日数	4	時間	12
概要	この講座は「DXを実現するための生産改善セミナー」の概略版になります。「経営工学」や「人間工学」はあまり馴染みのない分野かもしれませんが、現場改善・機器/サービス開発の基礎となる実践的な分野です。本講座では、教科書に書かれている内容を現場でどう活用するかに焦点を当て、経営工学・人間工学分野に関連する①講座の趣旨と経営工学・テーフの科学的管理法②品質管理③生産管理④人間工学⑤安全工学⑥情報共有⑦ロボット・デジタル技術の活用に関する概要を紹介いたします。(最小実施人数2名)	実施日時	8月22日(木) 8月29日(木) 9月6日(木) 9月12日(木) 15:00~18:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,000
コース名	生産改善の基礎と発展セミナー(2)【発展】デザイン思考に基づく戦略的改善	日数	4	時間	12
概要	生産性向上には、効率化と高付加価値化が求められています。そこで、効率化によって得られた余裕を使った「新しい製品やサービスの開発」や「戦略的な新たなカイゼン」の取組み手法の理解を進める必要な時期にきています。また、現場ボトムアップによる取組には限界があり、管理や経営者層から示される戦略が重要になってきています。このような考え方に基づく生産改善を進めるにあたり、近年様々なところで注目されているユーザー体験を重視したデザイン思考の考え方を活用した取組みについてご説明させていただきます。(最小実施人数2名)	実施日時	<del>10月10日(金)</del> 10月25日(金) 11月1日(金) 11月8日(金) 11月15日(金) 18:00~21:00		
対象者	不問(事務系・技術系を問わず様々な業種・職種の方が参加可能)	定員	6	受講料	6,000

DXを実現するための生産改善セミナー

生産改善の基礎と発展セミナー

日程調整中

電子情報セミナー	コース名	IoTセミナー「IoTクラウドの基礎」	日数	2	時間	12
	概要	近年、IoTを構築する上でクラウドを利用するケースが増加傾向にあります。クラウドを利用することで、場所を問わずデータを参照する事やグラフ表示、データ解析が容易になってきています。本講座では、Raspberry PiとPythonを用いて、データのセンシング、クラウド上のデータベースの格納、データベースのグラフ表示、データ監視、データ分析を実習ベースで行います。	実施日時	7月30日(火) 7月31日(水) 10:00~17:00		
	対象者	クラウドを用いたIoT技術を習得したい方、Windowsの基本操作ができる方	定員	5	受講料	6,000
	コース名	IoTセミナー「Raspberry Pi を用いた電子情報技術の基礎」	日数	2	時間	12
	概要	Raspberry Pi は、名刺サイズの超小型コンピュータです。PCのように使うことができる他、センサ、LED、モーター等を接続して直接制御することができます。また、Raspberry Pi にインストールされているPythonは、わかりやすい文法が特徴のプログラミング言語で、電子制御にも利用することができます。本講座では、これらを用いて電子情報技術の基礎を学習します。	実施日時	8月1日(木) 8月2日(金) 10:00~17:00		
	対象者	プログラミングが本業でない技術者で、Windowsの基本操作ができる方	定員	5	受講料	6,000
	コース名	IoTセミナー「PCベース計測制御プログラミングの基礎」	日数	2	時間	12
	概要	LabVIEWはグラフィカルなプログラミング環境で、ソフトウェア開発を専門としない者でも計測制御プログラムの開発が容易にできるため、企業におけるテスト環境の構築や試作機の開発などの開発業務から、国内外の大学での教育研究まで幅広く用いられています。本講座では、LabVIEWを用いたアプリケーション開発やテスト環境の構築に必要なプログラミングの基礎を学び、アナログ入出力の利用法と取得したデータの処理・分析法を学びます。そして、簡単な計測制御アプリケーション開発を通して、LabVIEWによる計測制御プログラミングの基礎技術を習得します。(テキスト有:3,080円)	実施日時	8月8日(木) 8月9日(金) 10:00~17:00		
	対象者	プログラミングが本業でない技術者で、Windowsの基本操作ができる方	定員	5	受講料	6,000
	コース名	IoTセミナー「IoTマイコン基礎」	日数	2	時間	12
	概要	Arduinoとはイタリアで開発されたワンボードマイコンです。オープンソースハードウェアでありマイコンの回路から開発環境にできるため、公開されているため、だれでも自由に開発への参加が可能です。この講座では、一通りの開発手順を体験するためマイコン技術と組み込みプログラミングの基礎を取得する他に、ネットワークを用いたサービスとの連携を体験します。	実施日時	9月26日(木) 9月27日(金) 10:00~17:00		
	対象者	ネットワークとマイコンの連携を体験したい人、Windowsの基本操作ができること	定員	5	受講料	6,000
情報通信技術セミナー	コース名	情報通信技術セミナー(問題発見・解決のためのデータサイエンス~データの取扱いと分析手法の基礎)	日数	2	時間	12
	概要	世の中に存在する様々なデータを活用して価値を創出するための基礎的な概念を実践を通して学びます。特に分析ツールRとExcelを用いて基本的なデータ分析手法を実践的に学び、分析結果から何が分かるのかといった傾向を掴めることを目的とします。	実施日時	7月24日(水) 7月25日(木) 9:00~16:00		
	対象者	データ分析を始めようとしている方、コンピュータの基本操作ができる方	定員	5	受講料	6,000
情報通信技術セミナー	コース名	情報通信技術セミナー(社内ネットワーク構築入門)	日数	4	時間	12
	概要	Cisco製ネットワーク機器を用いて、社内ネットワークを模したネットワークシステムの設計と構築をハンズオンで学びます。仮想環境を用いることで、様々な形態のシステムを模した構築を演習し、トラブルシューティングを含めたネットワークシステムの安定稼働についてスキルを深めます。	実施日時	10月15日(火) 10月22日(火) 10月29日(火) 11月5日(火) 18:00~21:00		
	対象者	ネットワークシステムの構築に興味がある方、Cisco製ネットワーク機器のオペレーションを学びたい方、ネットワークに関する基礎知識があり、コンピュータの基本操作ができる方	定員	8	受講料	6,000
建築・設備技術者セミナー	コース名	建築設備初級技術者研修	日数	2	時間	12
	概要	本講座は、山形県管工事業協同組合連合会と連携し、県内建築設備関連企業に就職した新入社員及び初級技術者を対象として、建築設備関連分野全般に対する基本知識を学び、基礎力向上を目指すことを目的として開講するものです。講座では、始めに設備が備えられる建築とその目的となる環境工学の分野の概要を学んでから、給排水衛生設備、空調設備、設備施工について解説します。(テキスト有:2,860円)(最小実施人数2名)	実施日時	4月4日(木) 4月5日(金) 9:00~16:00		
	対象者	建築設備関連職種の方、これから系統的に勉強をはじめられる初級技術者	定員	5	受講料	6,000
	コース名	環境技術(水処理技術)入門講座	日数	2	時間	12
	概要	水質に関わる概論、汚水処理方法についての基礎知識及び各種汚水処理方法に加えて、汚濁物質の測定技術について学習します。(最小実施人数2名)	実施日時	7月30日(火) 7月31日(水) 9:00~16:00		
	対象者	排水処理関連職種の方、実務経験のある方またはこれから排水処理職種に就く方	定員	5	受講料	6,000
	コース名	2次元CADによる建築製図基本講座	日数	3	時間	18
概要	建設業界では、ICT活用による業務の効率化が求められており、設計・施工情報の電子化は必須の技術となっております。本講座では、その基本となる 2次元CADによる建築製図技術を、業界で利用率の高いCADソフトを用いて基本操作方法から学びます。(最小実施人数2名)	実施日時	7月31日(水) 8月1日(木) 8月2日(金) 9:00~16:00			
対象者	建築関連職種の方、Windowsのファイル操作とワープロ入力ができる方	定員	5	受講料	7,800	
コース名	BIMの概念と建築3次元CAD入門講座	日数	2	時間	12	
概要	建築生産プロセスにおける生産性向上とコスト縮減及び品質向上等を目的として、急速に導入が進んでいるBIM(Building Information Modeling)の概念と、その基盤技術となるBIM対応の建築3次元CADの基本操作方法及びプレゼンテーション画像作成方法を学びます。(最小実施人数2名)	実施日時	8月7日(水) 8月8日(木) 9:00~16:00			
対象者	2次元CADの操作ができる方、又は、「2次元CADによる建築製図基本講座」を受講された方	定員	5	受講料	6,000	

8月7日(水)  
8月8日(木)

土木技術者セミナー	コース名	土木入職者研修(1)	日数	2	時間	12
	概要	本講座は、県内建設会社に就職した新入社員(現場監督)を対象として、土木施工管理に対する基礎知識を学び、基礎力向上を目指すことを目的として開講するものです。 <b>(今春4月に入社された方が対象です。)</b> 本講座は、施工管理業務(安全管理・工事測量(基礎))に特化した内容となっています。 <b>(最小実施人数2名)</b>	実施日時	4月16日(火) 4月17日(水) 9:00~16:00		
	対象者	土木関連職種の方(現場監督)、高校・大学等で土木(建築)を学習し、今春4月に入社された方	定員	6	受講料	6,000
	コース名	土木入職者研修(2)	日数	2	時間	12
	概要	本講座は、県内建設会社に就職した新入社員を対象として、土木施工管理に対する基礎知識を学び、基礎力向上を目指すことを目的として開講するものです。 講座では、オートレベル、トータルステーションを用いて実践的(基礎)な工事測量について解説します。 <b>(最小実施人数2名)</b> <b>(今春4月に入社された方が対象です。)</b>	実施日時	4月18日(木) 4月19日(金) 9:00~16:00		
	対象者	土木関連職種の方(現場監督)、高校・大学等で土木(建築)を学習し、今春4月に入社された方	定員	6	受講料	6,000
	コース名	土木入職者研修(3)	日数	5	時間	15
	概要	本講座は、県内建設会社に就職した <b>新入社員</b> (現場監督)を対象として実施するものです。高校等在学中に2級土木施工管理技士(学科)に合格したが、知識が定着しておらず実践で活かすのに不安がある方、2級土木学科試験(前期試験)を受検するにあたって学習した内容を復習したい方、 <u>実地試験(経験記述は除く)に向けて今のうちから準備を進めたい方</u> にお勧めです。 <u>入社後1カ月経過したフォローアップ研修の位置付けで実施します。各社同期入社の方々とは情報交換を行うことで現場監督としての意識を高めてもらうことを望みます。</u> <b>(最小実施人数2名)</b>	実施日時	5月1日(水) 5月8日(水) 5月15日(水) 5月22日(水) 5月29日(水) 18:00~21:00		
	対象者	土木関連職種の方(現場監督)、高校・大学等で土木(建築)を学習し、今春4月に入社された方	定員	6	受講料	6,900

# 令和6年度 社会人向け公開講座のご案内

山形県立産業技術短期大学校 庄内校

シーケンス制御入門						
制 御	概要	生産機械システムの制御系の設計のためには、シーケンス制御の理解は不可欠です。本講座では、シーケンスを用いたシーケンス制御に関して実習を通じ学びます。	日時	7/25(木)、26(金) (9:00～16:00)	受講料	6,000円
	対象者	シーケンス制御に興味のある方	講師	佐藤 義則	定員	5名
ロボット基礎研修						
機 械	概要	人材不足の中、製造現場で多く活用されている産業用ロボットの基礎的な知識や操作を学習します。本研修を通じ、まずはロボットを知り、体験し、ロボットは何ができるかを基本的なことから学んで頂きます。	日時	11/16(土)、23(土) (9:00～16:00)	受講料	6,000円
	対象者	企業においてロボットによる自動化を検討する方	講師	新居 徹哉	定員	5名
3次元CAD入門						
機 械	概要	SolidWorks2018を使用して、3次元CADの基本的な操作方法(パート、アセンブリ、図面の作成)を学びます。	日時	5/30、6/6、13、20 毎週木曜日 (18:00～21:00)	受講料 テキスト代	6,000円 3,520円
	対象者	新入社員またはこれから3次元CADを担当しようとしている方	講師	多田 淳	定員	5名
測定法入門						
機 械	概要	機械加工を行うためには、測定が重要な要素になります。本講座では、測定の基本的な方法から幾何公差まで学習します。	日時	6/4、11、18、25 毎週火曜日 (18:00～21:00)	受講料	6,000円
	対象者	新入社員またはこれから機械加工、検査を担当しようとしている方	講師	津田 勇	定員	5名
マシニングセンタ入門						
機 械	概要	マシニングセンタでの簡単なプログラミング(Gコード)を学びます。	日時	11/19(火)、22(金)、26(火)、29(金)、 12/3(火)、6(金) (18:30～20:30)	受講料	6,000円
	対象者	新入社員またはこれからマシニングセンタを始めようとする方	講師	宮下 智	定員	5名
基本情報技術者試験 科目A試験免除対策「2級1部合格コース」						
情 報	概要	民間資格を利用した科目A試験免除認定のため、(株)サーティファイが実施する情報処理技術者能力認定試験2級1部の合格を目指すコースです。	日時	5/23、30(18:00～21:00) 6/6、13、20(18:00～20:00) 毎週木曜日	受講料 受験料	6,000円 2,200円程度
	対象者	科目A試験の出題範囲に関する基礎的な知識を有し、午前試験免除を目指す方	講師	開沼 和広・工藤 智子・三浦 彰人	定員	5名
基本情報技術者試験 科目A試験免除対策「修了試験合格コース」						
情 報	概要	「2級1部合格コース」を受講して2級1部試験に合格した方が、民間資格を利用した科目A試験免除認定のための修了試験合格を目指すコースです。	日時	7/4(木)、11(木)(18:00～21:00) 7/18(木)、25(木)(18:00～20:00) 7/27(土)(10:15～12:15)	受講料 受験料	6,000円 2,000円程度
	対象者	2級1部に合格し、科目A試験免除を目指す方	講師	開沼 和広・工藤 智子・三浦 彰人	定員	5名
データサイエンス入門						
情 報	概要	データサイエンスの概要と、データの取得から前処理・データの可視化・分析・評価まで演習を交えながら学習します。データの読み方と統計、アソシエーション分析による売り上げデータの分析等、実例に添った講義と演習を行います。	日時	10/8(火)、10(木)、15(火)、17(木) (18:00～21:00)	受講料 テキスト代	6,000円 2,310円
	対象者	企業においてデータの活用を検討中の方	講師	工藤 智子	定員	5名
ソフトウェア技術者のためのセンサ活用入門						
電 気 ・ 電 子	概要	IoTでよく活用されている光や温度センサに代表される環境センサの原理と役割を理解し、そのセンサをマイコンに接続してデータを収集するプログラミング実習を通して、ソフトウェア技術者としてIoTに必要な不可欠なセンシング技術を基礎から身に付けます。	日時	8/31(土)、9/7(土) (9:00～16:00)	受講料	6,000円
	対象者	IoTに不可欠なセンサデバイスを基礎から学びたいと思っているソフトウェア技術者の方	講師	吉田 明弘	定員	5名
RPAを用いた業務効率化基礎						
ビ ジ ネ ス	概要	RPAとは今まで人間がしていた仕事の一部をコンピュータ上で動作するロボットを使って自動化し、業務を効率化しようという取り組みです。ただし、自動化を実現するためには、業務を整理し、仕事を見える化していくことが不可欠です。本講義では、自動化を越えた業務フローの見直し、業務分解のポイントを学びます。また、実際のRPAツールを用いたRPA作成を体験します。	日時	6/8、15、22、29 毎週土曜日 (9:00～12:00)	受講料	6,000円
	対象者	業務の効率化に興味がある方。PCの入力等基本操作ができる方	講師	高橋 永子	定員	5名
管理会計の基礎						
ビ ジ ネ ス	概要	財務会計は外部の利害関係者が情報の利用者であるのに対し、管理会計は内部の経営管理者が情報の利用者です。そのため管理会計は、マネジメントのための会計とも言われています。本講座では管理会計の特徴や処理方法をわかりやすい例示を用いながら解説していきます。※電卓をご持参下さい。	日時	6/15、22、29、7/6 毎週土曜日 (9:00～12:00)	受講料 テキスト代	6,000円 1,650円 (予備)
	対象者	管理会計に興味のある方	講師	鷹薨 直也	定員	5名
決算書の読み方入門						
ビ ジ ネ ス	概要	当講座では企業が作成した有価証券報告書を使用し、決算書の読み方・使い方を学びます。企業名から受ける印象と実際に企業を支えている事業が異なる企業を複数社とりあげ、解説を行います。	日時	9/7(土)、14(土) (9:00～16:00)	受講料	6,000円
	対象者	簿記検定で身に付けた知識を活かしたい方。決算書を読みこなしたい方	講師	原田 文規	定員	5名
マーケティング戦略の基礎						
ビ ジ ネ ス	概要	ニーズとウォンツの識別、改良型と市場創造型のマーケティング、マーケティング戦略のフローである環境分析、機会発見、STP、コンセプトマーケティング、マーケティングミックスの基礎について学習するとともに、顧客維持型のマーケティングを概観します。	日時	10/3、17、24、31、11/7、14 毎週木曜日 (18:00～20:00)	受講料	6,000円
	対象者	商品企画、営業・販売、販売促進、営業企画など商品売買に関係する業務を担当している方	講師	佐々木 健	定員	5名

受講申込書に必要事項をご記入いただき、FAX、メールまたは郵便によりお申込みください。詳しくは当校のホームページをご覧ください。

(注1)日時等は都合により変更する場合があります。

(注2)講座内容の録画・録音はご遠慮くださるようお願いいたします。

(注3)参加希望者が各コース2名に満たない場合等は、当該講座開催を中止させていただく場合があります。

(注4)申し込み後1週間以内に、FAX又は電子メールにて、受付確認の連絡をさせていただきます。

連絡がない場合は、再度ご連絡をお願いします。



産技短庄内校QRコード



公開講座QRコード

令和6年4月1日(第1版)

## 令和6年度 仕事のためのスキル向上研修のご案内

山形県立山形職業能力開発専門校

990-2473 山形市松栄二丁目2番1号

TEL:023-644-9227 FAX:023-644-6850

【URL】 <https://www.yamagatanoukai.jp>

## ＝ はじめに ＝

- 1 研修コースについて変更等がある場合があります。予めご了承ください。  
なお、最新情報は、山形職業能力開発専門校のホームページ（URL：<https://www.yamagatanoukai.jp>）にてご確認ください。
- 2 開始日の1～2ヶ月前になりましたら、各研修コースの詳しい募集案内（カリキュラム付き）を発行して受講者の募集を開始します。
- 3 ホームページからの申込設定に時間のかかる場合があります。その際は、申込書を印刷して、郵送又はFAXにてお申込みください。

## 人材開発・ビジネススキル向上研修

若手社員向け	<b>ビジネススキル基礎(若手社員向け)</b>	<b>6KJ001</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	若手社員を対象に、社会人として必要な仕事力、ビジネスマナー、コミュニケーションなどのビジネススキルを習得し、生き活きと仕事をするための基礎スキルの習得を目指します。		実施日	5/9(木)、5/16(木)	(2日、12時間)	
	<b>モノづくりの基礎(若手社員向け)①</b>	<b>6KJ002</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	モノづくりの仕事をするうえで身に付けておきたい基礎スキルとして、会社とは、仕事の心構え、仕事の段取り、時間管理、生産管理などを習得し、生き活きと仕事ができる自分づくりを目指します。		実施日	5/28(火)、5/29(水)	(2日、12時間)	
	<b>モノづくりの基礎(若手社員向け)②</b>	<b>6KJ003</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	モノづくりの仕事をするうえで身に付けておきたい基礎スキルとして、会社とは、仕事の心構え、仕事の段取り、時間管理、生産管理などを習得し、生き活きと仕事ができる自分づくりを目指します。		実施日	10/1(火)、10/2(水)	(2日、12時間)	
	<b>ビジネスマナー</b>	<b>6KJ004</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	仕事をするうえでのマナーの基本(挨拶、言葉遣い、電話応対、接客応対など)を習得します。そして、お互いに気持ちの良いビジネスマナーについて考え・発見します。		実施日	4/25(木)、4/26(金)	(2日、12時間)	
中堅社員向け	<b>コミュニケーション</b>	<b>6KJ005</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	「社内外でのコミュニケーション」や「リモートでのコミュニケーション」などに必要な基礎力を学び、ゲーム方式の演習を通じて「自らの気付き」へと導きます。そして、各自が、明日からの「やってみよう!」を発見することを目指します。		実施日	6/6(木)、6/7(金)	(2日、12時間)	
	<b>考える力</b>	<b>6KJ006</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	カードを使ったゲーム感覚の手法を用い、向上心を持って仕事に打ち込むことができるための基礎力である「考える力」を養います。		実施日	6/18(火)、6/19(水)	(2日、12時間)	
	<b>問題解決力</b>	<b>6KJ007</b>	受講料	6,900円	定員	15名
	【フォローアップ付き】日ごろの業務での問題を発見し、問題解決の方法を考え、解決へと向かうための基礎スキルとして、コミュニケーション、コーチング及びチームビルディングなどのスキルを習得し、問題を解決できるまでの基礎力を身に付けます。		実施日	9/12(木)、9/13(金)、9/19(木)	(3日、15時間)	
	<b>仕事のモチベーション</b>	<b>6KJ008</b>	受講料	6,900円	定員	15名
	【フォローアップ付き】モチベーションを維持して生き活きと仕事をするためのスキルを習得します。また、そのための基礎スキルとして、「自分自身のモチベーションを高める」、「メンバー(部下)のモチベーションを高める」方法を学びます。		実施日	1/30(木)、1/31(金)、2/6(木)	(3日、15時間)	
	<b>New! メンタルヘルスマネジメント</b>	<b>6KJ009</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	メンタルヘルスの基礎知識を学び、グループワークによるケーススタディから様々な気付きを生み、メンタルヘルスの観点からの心地よい職場づくりを目指します。		実施日	7/29(月)、7/30(火)	(2日、12時間)	
女性活躍	<b>New! リーダーのためのチームマネジメント</b>	<b>6KJ010</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	リーダーとして自分もチームも成果をあげて満足度をアップするための視点を整理し、自分らしい明日からの行動を考えます。 仕事の範囲、立ち位置、仕事の任せ方、部下の支援 など		実施日	10/16(水)、10/17(木)	(2日、12時間)	
	<b>女性のためのビジネスマインド</b>	<b>6KJ025</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	ビジネスに必要なマインドを再確認し、3年後、5年度、10年後の目指すキャリアをまとめ、グループワークにより、会社組織と自分らしい働き方についてまとめます。		実施日	7/3(水)、7/4(木)	(2日、12時間)	
	<b>女性のためのコミュニケーション</b>	<b>6KJ026</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	ビジネスに必要なコミュニケーションを再確認し、事例に沿った話し方や伝え方等のグループワークを通じて、自分らしい気持ちの良いコミュニケーションについてまとめます。		実施日	9/25(水)、9/26(木)	(2日、12時間)	
	<b>女性のためのリーダーシップ</b>	<b>6KJ027</b>	受講料	6,900円	定員	15名
【フォローアップ付き】ビジネスに必要なリーダーとしての基礎スキルを学び、演習による体験で、女性リーダーとして行動するための「ヒント」を自ら発見します。		実施日	10/24(木)、10/25(金)、11/7(木)	(3日、15時間)		

## パソコン基礎スキル向上研修

ビジネス用ソフトウェア	<b>パソコン基礎①</b>	<b>6KJ014</b>	受講料	7,800円	定員	15名
	短期間でビジネスソフトウェア (Word, Excel) の基本操作を学びます。		実施日	5/15(水)、5/16(木)、5/17(金)	(3日、18時間)	
	<b>パソコン基礎②</b>	<b>6KJ015</b>	受講料	7,800円	定員	15名
	短期間でビジネスソフトウェア (Word, Excel) の基本操作を学びます。		実施日	10/2(水)、10/3(木)、10/4(金)	(3日、18時間)	
	<b>Excel基礎 ①</b>	<b>6KJ016</b>	受講料	7,800円	定員	15名
	自分一人では自信を持って操作できない方を対象に、エクセルを使うために必要な基礎知識や基本操作について学びます。		実施日	6/5(水)、6/6(木)、6/7(金)	(3日、18時間)	
	<b>Excel基礎 ②</b>	<b>6KJ017</b>	受講料	7,800円	定員	15名
	自分一人では自信を持って操作できない方を対象に、エクセルを使うために必要な基礎知識や基本操作について、ゆっくりとしたペースで学びます。		実施日	10/22(火)、10/23(水)、10/24(木)	(3日、18時間)	
	<b>AutoCAD基礎(2D)</b>	<b>6KJ018</b>	受講料	7,800円	定員	15名
	CADの概要から、基本操作、活用法、作図演習までの一連の流れについてAutoCADを用いて習得します。また、本講座は、様々な業種に共通するJIS規格により行います。		実施日	7/17(水)、7/18(木)、7/19(金)	(3日、18時間)	
<b>3D CAD基礎(Fusion360)</b>	<b>6KJ019</b>	受講料	6,000円	定員	15名	
3次元CADモデリングの基礎について学びます。また、3次元CADの活用について考えます。		実施日	11/26(火)、11/27(水)	(2日、12時間)		

## 部門別スキル向上研修

経営 営業 経営分野	<b>はじめての会計</b>	<b>6KJ011</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	はじめて会計を学ばれる方を対象とし、会計を知って、会計の視点から会社と仕事を理解するためのポイントを捉えます。		実施日	5/21(火)、5/22(水)	(2日、12時間)	
	<b>会計の基礎(仕訳)</b>	<b>6KJ012</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	仕事をするうえで知っておきたい会計の基礎知識として、仕訳を中心に学びます。		実施日	10/29(火)、10/30(水)	(2日、12時間)	
	<b>会計の基礎(財務諸表)</b>	<b>6KJ013</b>	受講料	6,000円	定員	15名
仕事をするうえで知っておきたい会計の基礎知識として、財務諸表を中心に学びます。		実施日	11/19(火)、11/20(水)	(2日、12時間)		
管理 管理分野	<b>生産管理基礎(工程管理)</b>	<b>6KJ020</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	生産の現場で必要な生産管理の基礎について学ぶとともに、特に、演習を通じて工程管理における気付きと発見を促します。		実施日	6/27(木)、6/28(金)	(2日、12時間)	
	<b>生産管理基礎(生産計画)</b>	<b>6KJ021</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	生産の現場で必要な生産管理の基礎について学ぶとともに、特に、演習を通じて生産計画における気付きと発見を促します。		実施日	7/23(火)、7/24(水)	(2日、12時間)	
	<b>New! 生産管理基礎(コストダウン)</b>	<b>6KJ022</b>	受講料	6,000円	定員	15名
	生産の現場で必要な生産管理の基礎について学ぶとともに、演習を通じてムダ取りからのコストダウンへの気付きと発見を促します。		実施日	9/17(火)、9/18(水)	(2日、12時間)	
	<b>品質管理基礎(QC七つ道具)</b>	<b>6KJ023</b>	受講料	6,900円	定員	15名
	【フォローアップ付き】生産の現場で必要な生産管理の基礎である七つ道具について学びます。		実施日	2/5(水)、2/6(木)、2/13(木)	(3日、15時間)	
<b>原価計算基礎</b>	<b>6KJ024</b>	受講料	6,000円	定員	15名	
はじめて原価計算について学ぶ方を対象に、製品を生産するための固定費や変動費等をどう削減するかについて考え、行動するための知識を学びます。そして、ものづくりの生産性向上及び利益アップにつなげます。		実施日	8/27(火)、8/28(水)	(2日、12時間)		

## デジタルスキル向上研修

パソコン活用・デジタルスキル	<b>Excel活用(関数) ①</b>	6DJ001	受講料	6,000円	定員	15名
	エクセルの関数機能を中心に学習し、効率的に業務を行うための活用法について習得します。		実施日	6/20(木)、6/21(金)	(2日、12時間)	
	<b>Excel活用(関数) ②</b>	6DJ002	受講料	6,000円	定員	15名
	エクセルの関数機能を中心に学習し、効率的に業務を行うための活用法について習得します。		実施日	9/10(火)、9/11(水)	(2日、12時間)	
	<b>Excel活用(データベース機能)</b>	6DJ003	受講料	6,000円	定員	15名
	エクセルのデータベース機能を中心に学習し、効率的にデータを扱うための活用法について習得します。		実施日	6/25(火)、6/26(水)	(2日、12時間)	
	<b>Excel活用(マクロ/VBA)</b>	6DJ004	受講料	7,800円	定員	15名
	エクセルによる業務の効率化を目指し、マクロによるエクセル操作の自動化及びVBAプログラムの作成方法について基礎から習得します。		実施日	7/24(水)、7/25(木)、7/26(金)	(3日、18時間)	
	<b>ITスキル基礎</b>	6DJ005	受講料	6,000円	定員	15名
	ITの基礎知識について学び、便利なITツールを知って、今後の仕事に活用することを目指します。		実施日	9/3(火)、9/4(水)	(2日、12時間)	
	<b>ITツール利活用</b>	6DJ006	受講料	6,000円	定員	15名
	仕事のためのITツール(Googleツール、SNS など)を利活用するためのIT基礎スキルを学びます。		実施日	7/9(火)、7/10(水)	(2日、12時間)	
	<b>モノづくりのためのIoT基礎</b>	6DJ007	受講料	6,000円	定員	15名
	モノづくりに必要なITの基礎知識について学び、IoTの基礎となるセンサー(音、光、温度 など)を使った簡単なIoTツールを製作します。温度を感じて光で知らせるツール など		実施日	9/26(木)、9/27(金)	(2日、12時間)	
	<b>動画編集の基礎</b>	6DJ008	受講料	6,000円	定員	15名
Webページ、SNS、AI など画像を取り扱う業務があるが、編集の仕方が分からないという方を対象に、映像の制作、パソコンでの編集、スマホでの編集について学びます。		実施日	1/22(水)、1/23(木)	(2日、12時間)		
<b>New! ~新時代の仕事術~ AI(人工知能)×HI(人間知能)</b>	6DJ009	受講料	6,000円	定員	15名	
AI(人工知能)時代は加速し、HI(人間知能)がますます重要になってきました。AI時代の全体像とイロハを学びながら、新時代を生き抜くための自身や自社のAI×HIの活かし方を考えます。		実施日	10/8(火)、10/9(水)	(2日、12時間)		
<b>New! AIツールの利活用</b>	6DJ010	受講料	6,000円	定員	15名	
AI技術のツールを活用して業務の自動化を図り、生産性向上を目指します。 ・生成AIツール(ChatGPT) ・事務のAIツール(RPA)など		実施日	10/30(水)、10/31(木)	(2日、12時間)		
<b>New! DXの進め方</b>	6DJ011	受講料	6,000円	定員	15名	
DX(デジタルトランスフォーメーション)の基礎知識とビジネスの変革について理解し、DX導入の事例研究から自社に合った進め方と課題等について整理し、明日からの行動を考えます。		実施日	11/6(水)、11/7(木)	(2日、12時間)		
<b>New! ダイバーシティのためのIT利活用</b>	6DJ012	受講料	6,000円	定員	15名	
多様性(国籍、障害 など)を尊重して、同僚や観光客との円滑なコミュニケーションを図るためのデジタルツールの利活用を考えます。そして、明日からのチーム作りや接客に役立てます。 ・スマホ、iPad、PC など		実施日	11/28(木)、11/29(金)	(2日、12時間)		
その他	<b>オーダーメイドコース</b>		受講料	6,000円～	定員	10名以上
	個々の事業所様からのニーズにお応えするためのコースです。ご要望に応じてオーダーにてカリキュラム作成、講師の手配及び会場について設定し、研修コースを企画します。お気軽にお問い合わせください。※ただし、都合により設定出来ない場合があります。		実施日	日数、実施日は柔軟に対応します。 ただし、規定により訓練時間は、 <b>12時間以上</b> となります。		



## アーク溶接特別教育 (アーク溶接等の業務に係る特別教育)

### 講習概要

この講習会では、労働安全衛生法に基づく「アーク溶接等の業務に係る特別教育」によりアーク溶接等の業務に関する基礎知識、アーク溶接装置の取扱いやアーク溶接の作業方法を習得します。

- 講習日程 1日目：学科（大講義室）  
2日目：学科及び知識確認試験（大講義室）、実習（実習室）  
3日目：実習（実習室）

受講対象者	アーク溶接作業従事前の「アーク溶接等の業務に係る特別教育」を受講したい方		
募集人員	40名（最少催行人数：12名） ※12名未満の場合は中止となる場合があります。		
講習日	令和6年10月2日（水）、10月3日（木）、10月4日（金）（3日間）		
講習時間帯	8時45分から17時15分まで	1日7時間 総訓練時間数21時間	※訓練会場は、8:40からの受付及び入場となります。
実施場所	山形県立庄内職業能力開発センター 実習室（酒田市京田3-57-4） 山形県立産業技術短期大学校庄内校 5F大講義室（同上）		
持ち物等	筆記用具、作業帽・作業服・作業靴（長袖長ズボン、安全靴等の作業に適した靴）、溶接対応の防塵マスク（1人1枚使い捨て防塵マスクの配布あり。）		
費用	受講料	8,700円	市販テキスト代 1,210円（アーク溶接等作業の安全 特別教育用テキスト 第8版 中央労働災害防止協会）
留意事項	本県の条例で定められた受講料は、申込締切後に送付される山形県納入通知書にて、指定期日までに山形県収納代理金融機関へ振り込みいただくこととなり、受講料に含まれない市販テキスト代は、別途の自己負担として開講日に現金での精算となりますこと御了承ください。 また、申込締切期限のあとのキャンセルの場合は、中止となった場合を除き、受講の有無に関わらず受講料の納入が必要となり、その他市販テキスト代を御負担していただく場合があります。加えて、既に納入された受講料の返納は原則としてできませんので、御注意ください。		
その他	①「アーク溶接等の業務に係る特別教育」の最少時間（21時間）での構成となっておりますので、遅刻・早退・欠席等をした場合は、当該特別教育の修了証は交付できず、また、外部講師による講習となりますので原則として補講対応ができませんので御注意ください。 ②様々な理由で出席できない場合は、受講料等の負担が必要となりますので御注意ください。		

### 受講申込

申込締切	先着順での応募となり、募集人員を超え次第、申込みの締め切りとなります。また、申込状況により中止となる場合があります。中止となった場合は、お申込み頂いた方にお電話で御連絡いたします。		
申込締切期限	令和6年9月12日（木）	左記の申込締切期限のあとのキャンセルの場合は、中止となった場合を除き、受講の有無に関わらず受講料の納入が必要となり、その他市販テキスト代を御負担していただく場合がありますので御注意ください。	
申込方法	下記「お問合せ」あてに所定の受講申込書（団体・法人用または個人用）をFAX又はご郵送いただくか、当センターのホームページ（山形県電子申請へのリンク）より御申込みください。なお、受講申込書は、当センターのホームページよりダウンロードできます。		

### お問合せ

山形県立庄内職業能力開発センター 向上訓練担当

〒998-0102 酒田市京田三丁目57番4号

Tel: 0234-31-2700 FAX: 0234-31-2710

ホームページ <https://www.shonai-noukai.jp/>

令和6年11月29日

# 令和6年度 第1回山形県地域職業能力開発促進協議会

---

令和5年度及び令和6年度  
在職者訓練・生産性向上支援訓練実施状況

# 在職者訓練の実績(令和5年度実績と令和6年度速報値(令和6年10月末現在))

## 令和5年度実績(目標値:受講者数410人)

区分	訓練計画	実施		受講者数	
		コース数	割合		割合
機械系	431人	46コース	50.0%	260人	53.6%
電気・電子系	110人	22コース	24.0%	196人	40.4%
居住系	232人	24コース	26.0%	29人	6.0%
合計	773人	92コース	-	485人	-

区分	実施コース数	受講者数	受講者割合
オーダーメイド	17コース	176人	36.3%
レディメイド	53コース	309人	63.7%

## 令和6年度速報値(目標値:受講者数430人)

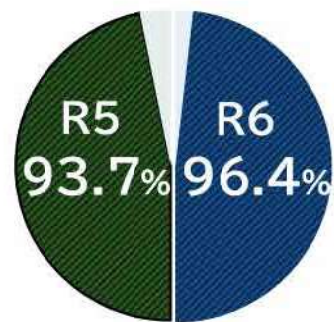
区分	訓練計画	実施		受講者数	
		コース数	割合		割合
機械系	446人	30コース	54.5%	199人	48.4%
電気・電子系	130人	19コース	34.5%	192人	46.7%
居住系	260人	7コース	11.0%	20人	4.9%
合計	836人	56コース	-	411人	-

区分	実施コース数	受講者数	受講者割合
オーダーメイド	16コース	155人	37.8%
レディメイド	40コース	256人	62.2%

## 受講者満足度及び事業主生産性向上度

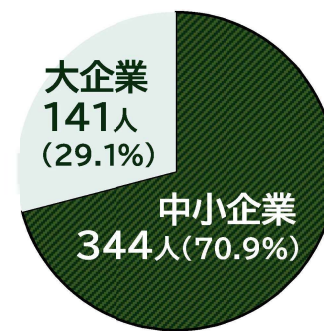


受講者満足度

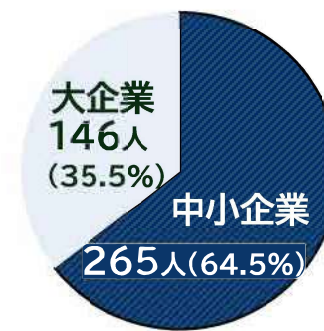


事業主生産性向上度

## 利用企業の規模別受講者数



令和5年度



令和6年度

# 生産性向上支援訓練の実績(令和5年度実績と令和6年度速報値(令和6年10月末現在))

## 令和5年度実績

区分	訓練計画数	実施コース数	受講者数
生産性向上支援訓練	650人	122コース	1,425人
DX対応コース	140人	39コース	407人
ミドルシニアコース	50人	20コース	251人
サブスク方式	25人	—	24人

実施方式	実施コース数	受講者数	受講者割合
オーダーコース	69コース	827人	58.0%
オープンコース	48コース	495人	34.7%
事業取組団体方式	5コース	79人	5.6%
サブスク方式	—	24人	1.7%
合計	122コース	1,425人	—

## 目的別実施コース数(令和5年度実績と令和6年度速報値)

訓練目的	令和5年度	令和6年度
生涯キャリア形成	20コース	14コース
情報発信	11コース	5コース
生産管理	15コース	9コース
組織マネジメント	26コース	24コース
データ活用	21コース	20コース
バックオフィス	16コース	9コース
その他※	13コース	11コース
合計	122コース	92コース

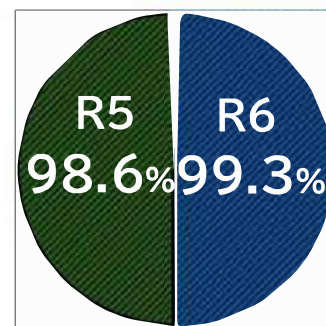
※:営業販売、ネットワーク、品質保証・管理、プロモーション、マーケティング、倫理・セキュリティ

## 令和6年度速報値

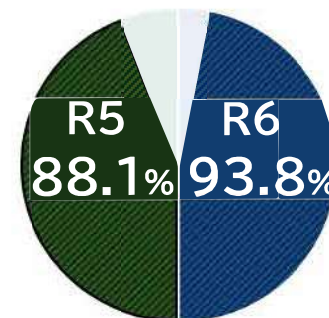
区分	訓練計画数	実施コース数	受講者数
生産性向上支援訓練	690人	92コース	975人
DX対応コース	180人	24コース	223人
ミドルシニアコース	50人	14コース	192人
サブスク方式	25人	—	3人

実施方式	実施コース数	受講者数	受講者割合
オーダーコース	44コース	534人	54.8%
オープンコース	48コース	438人	44.9%
事業取組団体方式	0コース	0人	0%
サブスク方式	—	3人	0.3%
合計	92コース	975人	—

## 受講者満足度及び事業主生産性向上度



受講者満足度



事業主生産性向上度



つながろうやまがた。紡ごう未来を。

# やまがた社会共創 プラットフォーム

やまがた社会共創プラットフォームは、  
様々な知的資源を有する山形県内の  
高等教育機関、地元の産業界、金融界、医療界、  
山形県及び県内自治体が密接に連携し、  
地域の課題解決と新たな価値の創出に取り組み、  
個人及び地域社会の  
ウェルビーイング（幸福）に貢献し、  
地域の持続的発展を目指します。

## 基本方針

1. 様々な立場・角度から地域課題を深掘りし、ニーズオリエンテッドの教育・研究・社会連携を追求する。
2. 地域の貴重なリソース（資源）・優れた連携実績を収集整理・データ化・視覚化し、共有・活用する。
3. 様々な機関が出会い、課題（ニーズ）と解決のための各種資源をマッチングする場となる。
4. 課題解決のための事業化の企画・実装の支援・先導をする。

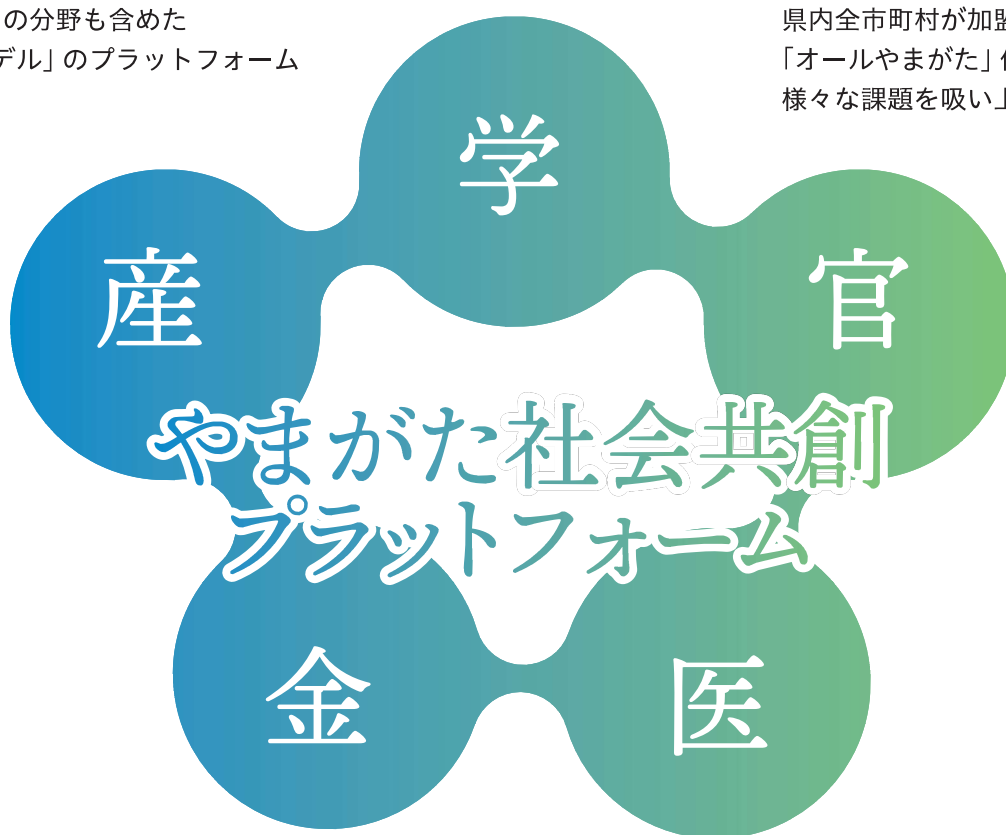
## 地域課題を共有し、解決に向けて 「オールやまがた」で取り組みます！

### 産学官金医の連携

「健康・医療」の分野も含めた  
「やまがたモデル」のプラットフォーム

### 全国屈指の規模

県内全市町村が加盟する  
「オールやまがた」体制により、  
様々な課題を吸い上げ、見える化



### 課題解決に向けた事業実践の場

同じテーブルで恒常的に話し合い、  
地域課題を共有・明確化し、具体的な方策を実践

## 初期戦略

1. 5つのテーマを設定「地域人材育成」「地域産業振興」「健康長寿支援」「地域活性化支援」「環境保全」  
各テーマに係る地域固有の具体的な課題について、参加機関が連携して解決に取り組む。
2. 特に以下について、共通の重点事項とし、全加盟機関が総力を挙げて取り組む。
  - ①山形県内大学生の地元定着率向上（Uターン学生含む）
  - ②山形県内高等学校からの県内大学進学率向上
  - ③女性の活躍・地域定着
3. プラットフォームの活動状況を積極的に県民に広報し、利用価値の周知を図ることにより、  
新たな事業化や自走化を推進し、プラットフォームの持続可能性を高める。

## 各高等教育機関の 取り組み例

### 羽陽学園短期大学

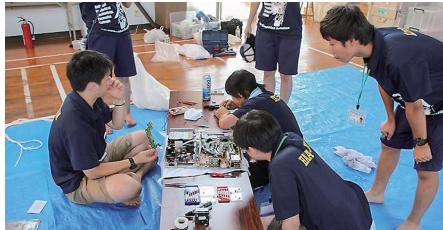
#### 舟形町との保育事業に関する連携



町立ほほえみ保育園における研修会や短大附属園等の視察などを通じて、保育者の資質向上に寄与します。【連携自治体：舟形町】

### 鶴岡工業高等専門学校

#### テクノ・パラメディック（技術の救急隊）



物流の不便な県内唯一の離島（飛島）を舞台に、「日頃の学修を地域のために」をスローガンとした家電修理などの技術提供型ボランティア活動を行っています。「輝けやまがた若者大賞（山形県）」をはじめ、受賞多数【連携自治体など：酒田市、酒田市教育委員会など】

### 東北芸術工科大学

#### 善寶寺五百羅漢修復プロジェクト



善寶寺（鶴岡市）に安置される500体の仏像を修復する事業です。本学文化財保存修復研究センターが2015年度より修復を開始し、概ね20年間をかけて完了する予定です。

### 東北公益文科大学

#### 公開講座「共創の技法」

#### （大学院修士課程科目の公開講座）



地域づくりにおける協働・共創の技法であるファシリテーションを、ワークショップ等で実践的に学びます。【連携自治体：鶴岡市】

### 東北文教大学

#### 高大連携事業で山形城北サマーチャレンジを開催



山形城北高校1年63名が、大学で専門性のある学びを体験し、進学への期待を持つことを目的に実施したものです。

### 山形県立農林大学校

#### 農林大学校「農大市場」の開催



農林大学校では、生産・製造した農作物、農産加工品を地域の方に販売する「農大市場」を年間4回開催しています。

### 山形県立米沢栄養大学

#### 山形県減塩・ベジアッププロジェクト事業



山形が誇る豊かな食を楽しみながら、「健康長寿日本一」を目指し、オールやまがたで「減塩」「野菜摂取量の増加（ベジアップ）」に取り組むプロジェクトです。【連携自治体：山形県】

### 山形県立米沢女子短期大学

#### 米沢市民カレッジ



学園都市推進協議会では、地域と地元大学との交流事業の一環として、大学の教員を講師に迎えた市民公開講座「米沢市民カレッジ」を開催しています。【連携自治体など：学園都市推進協議会（米沢市、米沢商工会議所など）】

### 山形県立産業技術短期大学校

#### ドローン（UAV）チャレンジ



小学生を対象にしたドローンチャレンジを実施し、ドローンを使う目的や操作方法を学び、土木へ興味を持つ機会を作りました。

### 放送大学山形学習センター

#### いつでも・どこでも・誰でも学べる大学



本センターで開催する面接授業では地域の方を講師に迎え、山形を知るフィールドワーク中心の授業を行っています。

### 山形工科短期大学校

#### 歴史的建造物の調査



所有者が保存すべきか検討している歴史的建造物について、調査を行ってその歴史的価値を明らかにし、今後の保存活用に繋がります。

### 山形県立保健医療大学

#### 保健医療大学 養 - 看護実践研究センター



県内の看護職を対象とした学び直し、研究指導、情報発信等により、山形県の看護実践水準の向上を図ります。

### 山形大学

#### -YEX- 山形大学エクステンションサービス



だれもが安心して、新たな目標にチャレンジできる「学び」を提供するリカレント教育を実施しています。



## 全国屈指の総合型地域連携プラットフォームが 令和4年秋、山形県に誕生します。

地域が抱える「課題」は、複雑で困難なものも多く、また絶えず変化しています。もはや、地方公共団体、教育機関、産業界、それぞれの立場からだけで、地域の課題解決やイノベーションを創出することは困難な状況です。これからは、日本の人口は減り続けるという事実、正面から向き合い、大学等の高等教育機関だけでなく、地方公共団体や産業界等が、地域社会のビジョンや高等教育を取り巻く現状について、共有・理解を図り、お互いの立場を越えて、恒常的に同じテーブルで議論を交わす必要があります。そのため、山形県内の地方自治体、産業界、高等教育機関、金融界、医学会が一体となって山形県内の地方創生について議論する場「やまがた社会共創プラットフォーム」を令和4年秋、設置します。

### やまがた社会共創プラットフォーム加盟機関

#### 地方自治体 (山形県及び山形県内 35 全市町村)

山形県、山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町、三川町、庄内町、遊佐町

#### 経済団体等 (計 10 機関)

山形県経営者協会、山形県商工会議所連合会、山形県銀行協会、山形県商工会連合会、山形経済同友会、山形県中小企業団体中央会、山形県中小企業家同友会、山形県医師会、山形県教育委員会、山形県高等学校長会

#### 高等教育機関 (計 13 機関)

羽陽学園短期大学、鶴岡工業高等専門学校、東北芸術工科大学、東北公益文科大学、東北文教大学、放送大学山形学習センター、山形県立産業技術短期大学校、山形県立農林大学校、山形県立保健医療大学、山形県立米沢栄養大学、山形県立米沢女子短期大学、山形工科短期大学校、山形大学 (事務局)

令和4年10月13日現在

#### 問い合わせ先

やまがた社会共創プラットフォーム事務局 (国立大学法人山形大学 社会共創推進室内)

〒990-8560 山形市小白川町一丁目 4-12 Tel: 023-628-4615 / Fax: 023-628-4013

Mail: [yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-shakaikyousou@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)





# やまがた共創塾 地域産業コア人材 育成プログラム

Core Human Resources Development Program for Regional Industry

令和6年度 受講者募集要項

プログラム説明動画はこちら！ /

地域産業コア人材育成プログラム  
概要説明動画（約5分）



## 地域産業コア人材育成プログラムとは

# 企業・団体の中核として組織や事業の成長を牽引していくコア人材の育成を後押しします。

高齢化や人口減など様々な地域課題があるなか、山形県にとって継続的な産業人材の育成が喫緊の課題となっています。これらの課題を解決し、地域経済や産業の活力を維持・向上させていくため、各企業・団体の中核として組織や事業の成長を牽引していくコア人材を育成する教育プログラムが必要とされています。

本プログラムは、やまがた社会共創プラットフォームにおけるリカレント教育として山形大学が企画・運営する、産学官連携による人材育成プログラムです。プログラム修了者には、山形大学の『地域産業コア人材育成プログラム修了証』を授与します。

## プログラムの特長

1

### 地域産業の ニーズに応えた カスタムメイドプログラム

令和5年度に実施した企業等団体・個人へのアンケート及びヒアリング結果に基づき、そのニーズに応える内容で構成された教育プログラムです。産業界から多数の実務家講師が授業を担当いたします。

2

### 経営シミュレーション などに重点を置いた 実践的な講義

多くの優良企業の研修にも採用されているシミュレーション教材を使用します。経営視点を持って意思決定する体験を通し、コア人材としての実践力を身につけることができます。

3

### 5ヶ月・60時間の インターバル型 リカレント教育

隔週金曜日（一部土曜日）に開講する5ヶ月・60時間の教育プログラムです。時間をかけて体系的に学ぶことで、コア人材に必要な力を着実に身につけることができます。

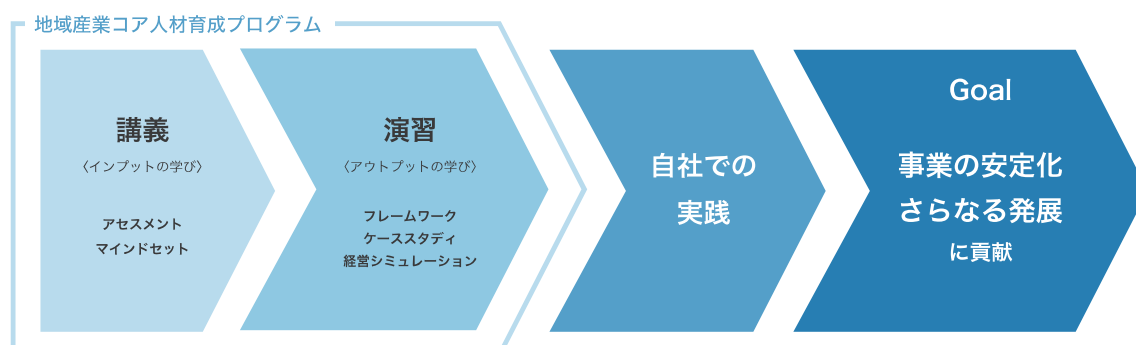
## 対象者

組織や事業の成長を牽引していくコア人材の育成を希望する企業・団体。

中堅層・プレマネジメント層・管理者層におすすめ。

※業種は問いません。公務員の方の参加も歓迎。

## コア人材育成のイメージ



## 1 オリエンテーション

本プログラムの流れと期待について説明。また受講者は事前にオンラインでアセスメントを受け、自身の強みを理解しておき、それを自己紹介に使う。

(※受講者の所属企業の経営者または、担当役員も参加)

## 2 組織経営 リーダーシップ

組織経営のあり方は環境変化と経営戦略に従う。

自分は「なぜ学ぶのか、何をめざし、何を実現したいのか」を人と組織と経営の視点から再検討し、その実現のために自身に必要なリーダーシップを探る。

## 3 財務

財務三表を理解し、事業活動の「何」が財務に影響するかを学ぶ。また自分の本業での役割が自社の財務でどのように影響するかも理解をする。

## 4 ヒューマンリソース開発

経営者から新入社員まで、チームの個人に焦点を当てた活性化と成長のポイントをつかむ。

それぞれの個性やもち味を活かす「人と人」「仕事と働き方」の組合せを探り、「やる気、やりがい、感謝」を実感できる個人と職場づくりをめざす。

## 5 チームビルディング

メンバーが自発的に能力を発揮し周囲に貢献し、チーム全体の成果に結びつけるための「つながり」を再構築する。安心で生産性の高いチームをつくるために、特に対人感受性と日常の言語・非言語コミュニケーションの必要性とスキルを実習により習得する。

## 6-7 経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定 資金調達

製造業（自動車）の経営をチーム対抗で行う。経験や知識をフル活用して、シミュレーション上の会社経営を行う。またこの体験からの学びをどのように本業での役割につなげることができるかも振り返る。

## 8-9 経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化 プロジェクト管理、事業効率（財務観点）

架空の会社を経営してみる。戦略を策定し、戦略に合致する顧客獲得を行い、且つ顧客にフィットする人材の採用と業務指示を行う。顧客と人材は他社から狙われることもあり、攻めの経営だけでなく守りについても考えることが必要。またこの体験からの学びをどのように本業での役割につなげることができるかも振り返る。

## 10 経営の実例に学ぶ

中小企業庁委託事業 山形県よろず支援拠点で関わった県内のビジネス成功事例について、その経営者とコーディネーターでトークセッションを行う。また、現在ビジネスの第一線でも活躍しているコーディネーターによる、経営者の視点での講演および経営のシミュレーションを通じて経営ノウハウを学ぶ。

## 11 DX とデジタル化の違い

デジタルは DX を成功に導く道具であること、DX は資産・人材・アイデア・技術をデジタルで繋ぎ、ビジネス目標を達成するための手段であることを理解し、また社内へ浸透させるためにはチェンジマネジメントのアプローチが必要になることを学ぶ。

## 12 イノベーションを起こす マインドセット

イノベーションを生み出すためには、当然行動が必要。その行動は勇気を伴うこともある。社内でイノベーションを起こすための行動について講師自身の経験を交えて学ぶ。

※山形大学アントレプレナーシップ教育研究センターが実施する『新事業創出イノベーションプログラム』の講義を、同プログラム受講生とともに受講いたします。(ZOOM 受講)

## 13 実践的知的財産活用術

社内に存在する知的財産の価値に気づき、それが新たな財務的価値を生み出す可能性について学ぶ。

※山形大学アントレプレナーシップ教育研究センターが実施する『新事業創出イノベーションプログラム』の講義を、同プログラム受講生とともに受講いたします。(ZOOM 受講)

## 14 学びの総括・クロージング 修了式・懇親会

学びのポイントの振り返り。「学んだこと」と「学びを明日からどのように活かすか」について各自事前に動画（3分以内）を作成しそれを視聴する。また動画による発表内容について質疑応答を経ることにより、学びをできるだけ記憶に残せるようにする。

(※受講者の所属企業の経営者または、担当役員も参加)

## プログラム概要

## 履修期間

## 5ヶ月間

令和6年 5月24日(金)開講  
令和6年 10月25日(金)修了 予定

## 受講料

## 20万円

※納付いただいた受講料は返付できません。

## 開講場所

山形大学 小白川キャンパス

## 受講形式

原則 対面形式 (実践重視の教育のため)

※一部、ZOOM受講回があります。  
※出席できない場合、リアルタイムでのZOOM参加が可能な  
回もあります。

## 講義時間

## 計60時間

原則①～③の時間帯で開講

①金曜日 16:00-19:00 ②金曜日 9:00-17:00

③土曜日 9:00-17:00

※隔週金曜日10回、土曜日4回の全14回

## 修了要件

以下の要件を満たすこと

- 全時間数のうち8割の出席
- 各講義ごとに提出する課題の点数が合格ラインであること

## 応募資格

高等学校卒業者等の大学入学資格を有している方

## 募集定員

30名 (一企業・団体から複数名の受講可能)

※最低開講人数は10名です。申込者多数の場合は選考を行うことがあります。また、人数に達しない場合は実施できない可能性があります。

## 応募方法

- 受講申込書(所定用紙)を郵送・持参  
又は、WEB応募フォームからお申し込みください。
- 受講料の納付については別途ご案内いたします。

## 応募締切

令和6年 4月30日(火)



WEB申込は  
こちらから

<https://x.gd/202405241025>



## 講師陣



山形大学 教授  
アントレプレナーシップ教育研究センター センター長

ONODERA Tadashi

小野寺 忠司

1 オリエンテーション



山形大学 准教授  
アントレプレナーシップ教育研究センター 副センター長

SUGAOI Tatsuhito

菅生 達仁

3 財務 6・7 経営シミュレーション①

8・9 経営シミュレーション② 14 学びの総括



ライフマナーサポート 代表

KANAZAWA Nobuo

金沢 信雄 氏

2 組織経営 リーダーシップ 4 ヒューマンリソース開発

5 チームビルディング



山形県よろず支援拠点

チーフコーディネーター

katsuki Shinya

勝木 伸哉 氏

10 経営の実例に学ぶ



一般社団法人オフショア開発機構 理事  
経済産業省 DX 認定個人事業者 (DX-2021-08-0020-01)

KOJIMA Hideharu

小嶋 秀治 氏

11 DXとデジタル化の違い



山形県よろず支援拠点

コーディネーター

Kobayashi Kazumi

小林 一三 氏

10 経営の実例に学ぶ



SCSK(株) 参与

KOMIYA Hiroyuki

古宮 浩行 氏

12 イノベーションを起こすマインドセット



明倫国際法律事務所  
弁護士・弁理士

TANAKA Masatoshi

田中 雅敏 氏

13 実践的知的財産活用術

## 開講スケジュール

回	授業日	受講形式	開始	終了	時数 (h)	テーマ	講師
1	5月24日(金)	対面	16:00	19:00	3	オリエンテーション	山形大学 教授 小野寺 忠司
2	6月 7日(金)	対面	16:00	19:00	3	組織経営 リーダーシップ	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄 氏
3	6月21日(金)	対面	16:00	19:00	3	財務	山形大学 准教授 菅生 達仁
4	7月 5日(金)	対面	16:00	19:00	3	ヒューマンリソース開発	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄 氏
5	7月19日(金)	対面	16:00	19:00	3	チームビルディング	ライフマナーサポート 代表 金沢 信雄 氏
6	8月 2日(金)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定、資金調達	山形大学 准教授 菅生 達仁
7	8月 3日(土)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション① 事業戦略構築、事業計画、意思決定、資金調達	山形大学 准教授 菅生 達仁
8	8月30日(金)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化、プロジェクト管理、 事業効率(財務観点)	山形大学 准教授 菅生 達仁
9	8月31日(土)	対面	9:00	17:00	7	経営シミュレーション② 顧客獲得戦略、人的リソース最適化、プロジェクト管理、 事業効率(財務観点)	山形大学 准教授 菅生 達仁
10	9月13日(金)	対面	9:00	17:00	7	経営の実例に学ぶ	山形県よろず支援拠点 勝木伸哉、小林一三 他
11	9月27日(金)	オンライン	16:00	19:00	3	DXとデジタル化の違い	一般社団法人オフショア開発機構 理事 小嶋 秀治 氏
12	10月 5日(土)	オンライン	11:15	12:45	1.5	イノベーションを起こすマインドセット	SCSK株式会社 参与 古宮 浩行 氏
13	10月19日(土)	オンライン	13:15	14:45	1.5	実践的知的財産活用術	明倫国際法律事務所 弁護士・弁理士 田中 雅敏 氏
14	10月25日(金)	対面	14:00	18:00	4	学びの総括、クロージング	山形大学 准教授 菅生 達仁
						修了式、懇親会	



## 人材開発支援助成金のご案内

企業が従業員に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って受講させた場合、厚生労働省より「人材開発支援助成金」の支援が受けられます。

### 【助成内容】

- ・人材育成訓練受講経費の助成 **45%** (中小企業の場合)
- ・人材育成訓練受講期間中の賃金の助成 **1時間 760円** (中小企業の場合)

※助成額は事業規模等によって企業ごとに異なります。

### 【支給条件】

- ・従業員に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施する企業
- ・時間数のうち8割以上の出席

### 【受講前手続き】

開講日の1ヶ月前までに『職業訓練実施計画届』、その他必要な書類を労働局へ提出

申込期日：令和6年4月24日(水)

詳細は労働局までお問い合わせください

## アクセスマップ



### 小白川キャンパス

地域産業コア人材育成プログラムは、山形大学小白川キャンパス内での開講を予定しております。

### JR 山形駅から

- 東方へ約 2.5km (徒歩約 30 分)
- ベニちゃんバス「東くるりん 東原町先回りコース」で「山大前」下車 (所要時間約 9 分)
- 市内路線バス「県庁前・県庁北口」行きで「南高前・山大入口」下車 (所要時間約 6 分)、そこから徒歩約 7 分

## お問い合わせ

山形大学 総務部総務課 社会共創推進事務室  
(やまがた共創塾 地域産業コア人材育成プログラム 事務局)

担当：樋口、長沼、岡崎

MAIL：yu-shakaikyouso@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

TEL：023-628-4615 FAX：023-628-4185

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目 4-12 (法人本部棟)

やまがた社会共創  
プラットフォーム

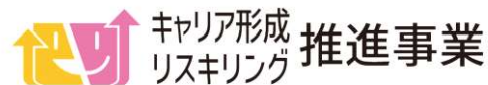


やまがたリカレント教育アカデミー  
Yamagata Recurrent Education Academy



# 令和6年度キャリア形成・リスキング推進事業 事業の案内・実施状況について

2024年11月29日  
山形キャリア形成・リスキング支援センター  
〒990-0039 山形市香澄町3-2-1山交ビル 8F



厚生労働省委託事業

# キャリア形成・リスキリング推進事業について

## 課題

労働者を取り巻く環境の急激な変化  
職業人生の長期化、多様化

必要とされるスキルや労働需要の変化に対応し、自らのスキルを向上させキャリアの再構築を図る労働者のリスキリング（学び・学び直し）の取組を促す必要がある

働く意欲のある高齢者が年齢にかかわらず活躍できる社会を実現

学びや学び直しを通じて、生涯にわたり職業能力を向上させていくことが重要である



## キャリアコンサルティング及びジョブ・カード普及促進



## 目的

**リスキリングを通じ生涯にわたり職業能力を向上させ  
労働者の主体的な職業能力開発、キャリア形成を推進する**

キャリアプランの見直しの必要性に迫られている労働者や高齢期を見据えてキャリアプランの再設計を考える労働者、リスキリングの必要性を感じている労働者等に対して、労働市場情報や職業・教育訓練等に関する情報及びジョブ・カードを活用した在職時からの継続的なキャリアコンサルティングの機会を提供するとともに、労働者等が企業内で定期的にキャリアコンサルティングを受ける仕組みの導入などの支援を行うこととする。

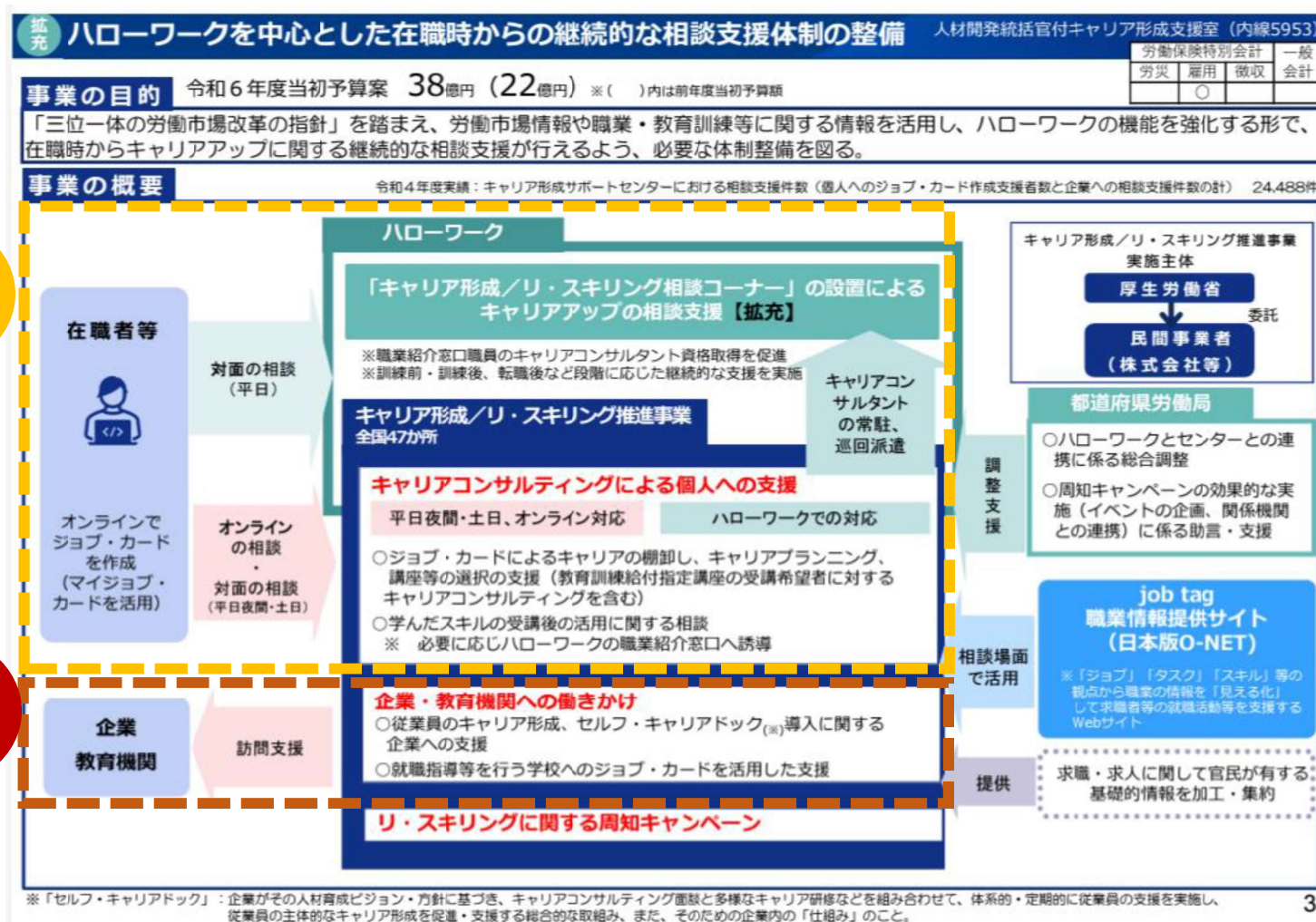
**労働者等が自律的・主体的かつ継続的にキャリア形成及び職業に関するリスキリングを行うことができるよう、関係機関とも連携し、労働者等のキャリア形成及びリスキリングを総合的に支援する。**

# キャリア形成・リスキリング推進事業について

※厚生労働省発表資料「令和6年度予算案の概要」令和5年12月（人材開発統括官）より  
<https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/24syokanyosan/dl/gaiyo-14.pdf>

1  
相談コーナー  
個人の労働者向け支援

2  
支援センター  
企業・学校向け支援



# キャリア形成・リスキリング推進事業について

## キャリア形成・リスキリング推進事業の内容

### 1. **1** **2** キャリア形成・リスキリング推進事業に関する地域レベルの周知 広報及びリスキリングに関する周知キャンペーン

- 1) リーフレット及びポスターの配付
- 2) ジョブ・カード制度等に関する企業・学校等向けセミナーの実施
- 3) ハローワーク利用者に対するジョブ・カードの周知・広報業務
- 4) リスキングやキャリアコンサルティングに関する周知キャンペーン

### 2. **1** 企業・学校等の開拓と個別支援

【企業向け】積極的に企業を訪問し、当該企業が抱える課題（**従業員の採用・定着、人材育成**（リスキリングを含む）、評価等）やニーズを把握し、企業の経営者・人事担当者、その企業の従業員等に対して、ジョブ・カードセミナーやキャリアコンサルティング、セルフ・キャリアドックの導入支援を実施

- ジョブ・カードを活用した採用活動（応募書類等）、従業員の人材育成（リスキリングを含む）、評価を実施する企業への支援
- ジョブ・カードを活用した雇用型訓練の実施企業の支援
- セルフ・キャリアドック導入支援

【学校向け】ジョブ・カードを活用した就職指導の課題やニーズに対する支援

- ジョブ・カードを活用して学生に対する就職指導等を行う学校への支援

### 3. **2** 個人の労働者向けのキャリア形成、リスキリング支援

- ・在職労働者、求職者向けジョブ・カードセミナーやキャリアコンサルティング実施
- ・全国のハローワーク及びキャリア形成・リスキリング相談コーナーへのキャリアコンサルタントの派遣・常駐

※全て支援は無料で実施

### 【参考】キャリア形成・リスキリング推進事業のKPI

導入支援	制度の活用を希望する企業等への相談支援	7,300社	・ジョブ・カード制度に関するもの:5,100社 ・セルフ・キャリアドックに関するもの:2,200社 ・うち、従業員のリスキリングを行う企業等への相談支援:3,650社
活用成果	制度活用企業数	1,000社	・応募書類、在職労働者の実務経験の評価、在職労働者へのキャリアコンサルティングにジョブ・カードを活用する企業:850社 ・セルフ・キャリアドック導入企業:150社 ・うち、従業員のリスキリングに制度を活用する企業:500社
	ジョブ・カード作成支援者数	158,500人	・うち雇用型訓練に関するもの:3,400人 ・うち、リスキリングに関する支援:116,000人
	労働者に対するキャリアコンサルティング機会の提供(相談人数)	105,000人	・内訳(7(1)オのうち体験型のキャリアコンサルティング、同(2)ウ、エ、カ、キ)がとれるよう集計すること。 ・内訳として相談コーナーにおける支援実績についても集計すること。 ・うち、リスキリングに関する相談:90,750人 ・のべ件数、実人数いずれも集計すること。
	教育訓練給付指定講座の受講が現在の職務に関連するものであることの証明	—	・受動的業務のため目標値は定めないが、証明書を発行した件数を集計すること。
その他	企業内の人事部門、キャリアコンサルタント等を対象としたセミナーの実施	850回	・ジョブ・カード制度に関するもの:700回 ・セルフ・キャリアドックに関するもの:150回
	ジョブ・カード普及サポーター企業の登録	2,100社	
	ジョブ・カード制度活用好事例及びセルフ・キャリアドック活用好事例のホームページへの掲載	25件	

# キャリア形成・リスキング相談コーナーについて

## 1) キャリア形成・リスキング相談コーナーの設置

① 47都道府県のキャリア形成・リスキング支援センターに併設

② 全てのハローワーク（出張所、分室を含む）に設置

※ハローワークが開庁している間、キャリアコンサルタントを常時配置する**常駐ハローワーク**と、申し込みが入った場合や指定された日・曜日に配置する**巡回先ハローワーク**があり、各都道府県の労働局からの要望に基づき実施する。

※相談コーナーに配置するキャリアコンサルタントは全て訓練対応キャリアコンサルタント。

## 2) キャリア形成・リスキング相談コーナーで行うキャリアコンサルティング内容

① 訓練受講希望者に対するキャリアコンサルティング

② 労働者向けキャリアコンサルティング

職場定着やキャリアアップに向けた専門的なキャリアコンサルティングを実施する。具体的には、ジョブ・カードを活用して、自己理解や仕事理解を深め、キャリアプランの作成支援や、リスキングの支援を行う。なお、職業紹介は行わないことを明示すること。

<②の対象者>

- a 勤務先においてキャリアコンサルティングを受ける環境がない者
- b 安易な早期離職を志向するなど企業内における対応が難しい者
- c 高年齢期を見据えて高年齢期からのキャリアプランニングが必要な中高年齢層
- d 学び直しの必要性を感じているが、どういった学び（目的・方法・内容）等をしてよいか分からない者
- e 受講すべき具体的な職業・教育訓練が明確でない者
- f 訓練受講希望者等
- g 知識・スキルの取得に先立って、職業経験の棚卸し、キャリアプランの作成等の支援が必要である者

# キャリア形成・リスキリング相談コーナーについて

## ＜キャリア形成・リスキリング相談コーナーの対応時間＞

ハローワーク開庁時間中の来所が難しい在職者の利用が見込まれることを踏まえ、平日日中（8時30分から17時15分）の他に以下の時間に対応します。支援センター併設の相談コーナーにて実施。

### （1）平日夜間の対応（対面及びオンライン）

受付日：毎週火曜日、水曜日、木曜日の20時まで。キャリアコンサルティングの所要時間を踏まえ、19時までにキャリアコンサルティングを開始するものとする。

### （2）土曜日、日曜日の対応（対面及びオンライン）

受付日：①第1、第3、第4土曜日の8時30分から17時まで  
②第2日曜日の8時30分から17時まで

### （3）留意事項

平日夜間及び土曜・日曜の対応については、いずれも事前予約が必要。予約なしに当日キャリアコンサルティングを依頼しても対応できないこと。

## ＜窓口に来所されたキャリアコンサルティング申し込み希望者へのご案内依頼＞

各ハローワーク様に、相談コーナーへの誘導・対象者への案内の協力をいただいています。



### 訓練キャリアコンサルティング案内時は下記配布

- ・ジョブ・カード作成支援キャリアコンサルティング
- ・ジョブ・カード活用ガイド
- ・【訓練受講前キャリアコンサルティング】ジョブ・カード記入例

# キャリア形成・リスキング相談コーナーについて

## 3) 特定支出控除制度の証明書発行

令和5年度税制改正において、給与所得者の特定支出が、研修費又は資格取得費に該当する場合において、教育訓練給付金の支給対象となる教育訓練に係るものであるときは、改正前の手続において必要とされる給与等の支払者による証明に代えて、キャリアコンサルタントによる証明ができることとされた。証明を希望する労働者から相談があった場合には、当該労働者が受講した教育訓練給付指定講座が現在の職務に関連するものであることを確認し、証明書を発行する。

### リスキングの支援

- a リスキングの方向性・目標の設定
- b 受講すべき具体的な職業・教育訓練の情報提供、情報の検索方法の助言
- c 公的職業訓練、教育訓練給付対象講座、その他の教育訓練等への誘導、受講促進
- d リスキングを継続するための支援（学びの進捗確認やモチベーションの維持等）
- e リスキングで身に付けた能力・スキルを活かしたキャリアプランの作成支援

### ★相談回数について

相談者一人当たりの相談回数について上限は設けていない。相談後の状況に応じ、より効果的なリスキングの実施や新たな課題への対応など、必要に応じ再度の相談に応じる旨をキャリアコンサルタントより積極的に案内する。



# キャリア形成・リスキリング相談コーナーについて

## 4) 山形キャリア形成・リスキリング相談コーナーのキャリアコンサルティング実施状況

安定所名	山形	米沢	長井	酒田	鶴岡	新庄	寒河江	村山	山形支援センター	オンライン	月別計
4月	58	1	0	2	1	0	3	1	0	0	66
5月	57	4	1	5	3	1	2	0	2	2	77
6月	46	2	1	1	3	2	2	0	0	0	57
7月	30	1	0	3	3	0	1	3	0	1	42
8月	24	0	0	2	1	1	0	0	2	2	32
9月	48	1	0	1	1	0	0	1	2	0	54
10月	57	3	0	2	3	0	3	0	2	6	76
11月	17	1	0	4	5	1	1	1	0		30
拠点計	337	13	2	20	20	5	12	6	8	11	423

※11月は11/15まで時点の数値です

# キャリア形成・リスキリング相談コーナーについて

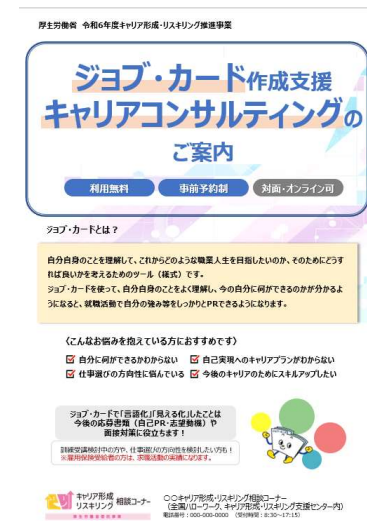
## 5) ハローワーク利用者に対するジョブ・カードの周知・広報業務について

労働局管内のハローワークにおいて、雇用保険受給資格者に対する初回受給者説明会、職業訓練説明会等の開催に併せ、ジョブ・カードに関するセミナーを開催するとともに、その他、ジョブ・カード制度の効果的な周知・広報に取り組んでいます。

### <セミナー開催>

項目	内容
(a)説明内容	<p>ジョブ・カードの利用が促進されるよう、次の内容が盛り込まれた資料を作成して、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジョブ・カード作成のメリット、活用方法、マイジョブ・カードの活用方法</li> <li>・事業所へ提出する応募書類としての活用方法</li> <li>・本事業におけるジョブ・カード作成支援業務の案内</li> </ul>
(b)実施回数	<p>公的職業訓練の応募時期を考慮して、労働局管轄内の各ハローワークにおいて、月1回又は2回（ハローワークの規模等に応じて0回の月も可。）</p> <p>※ 具体的な開催スケジュールは、労働局と協議の上、決定すること。</p>
(c) その他留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー参加者に対し、今後本事業を利用してもらえるよう周知・広報を行うこと。</li> <li>・セミナー参加者の窓口利用実績を参加者本人より把握するとともに、実績向上に繋がるよう工夫を行うこと。</li> <li>・セミナーの実施方法について、ジョブ・カード制度に関心の薄い求職者にジョブ・カード作成のメリット等を中心に説明するよう努めること。</li> </ul>

### セミナー・説明会資料イメージ



# 支援センターの事業内容（対企業等）



## ① ジョブ・カード作成を通じた自己理解、キャリア支援セミナー

- ジョブ・カードを活用したセミナーは1.5時間～2時間程度で実施します（実施上限人数設定はありません）
- 年代別、階層別などのカスタマイズが可能です。
- 自己理解ワークやジョブ・カードを通じ、自身のキャリアと向き合うための研修会です。
- 今までの経験を振り返りながら、想いや考えを書き出すことで、自己理解（価値観や能力、強み弱み、やりがい等）が深まり、自分の能力開発や成長に向けた主体性、リスキリングを促す機会となります。



## ② 従業員へのジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティング

- 在職労働者へのジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティング等の実施を支援します。
- 実施前に、より効果を高めるため、①のジョブ・カード作成を通じた自己理解、キャリアセミナーの実施をおすすめしております。①のセミナーも②のキャリアコンサルティングも「オンライン」での実施が可能です。在宅社員の方・複数の事業所の社員の方々への対応も可能です。

### ①+②を2時間で実施する場合の実施例

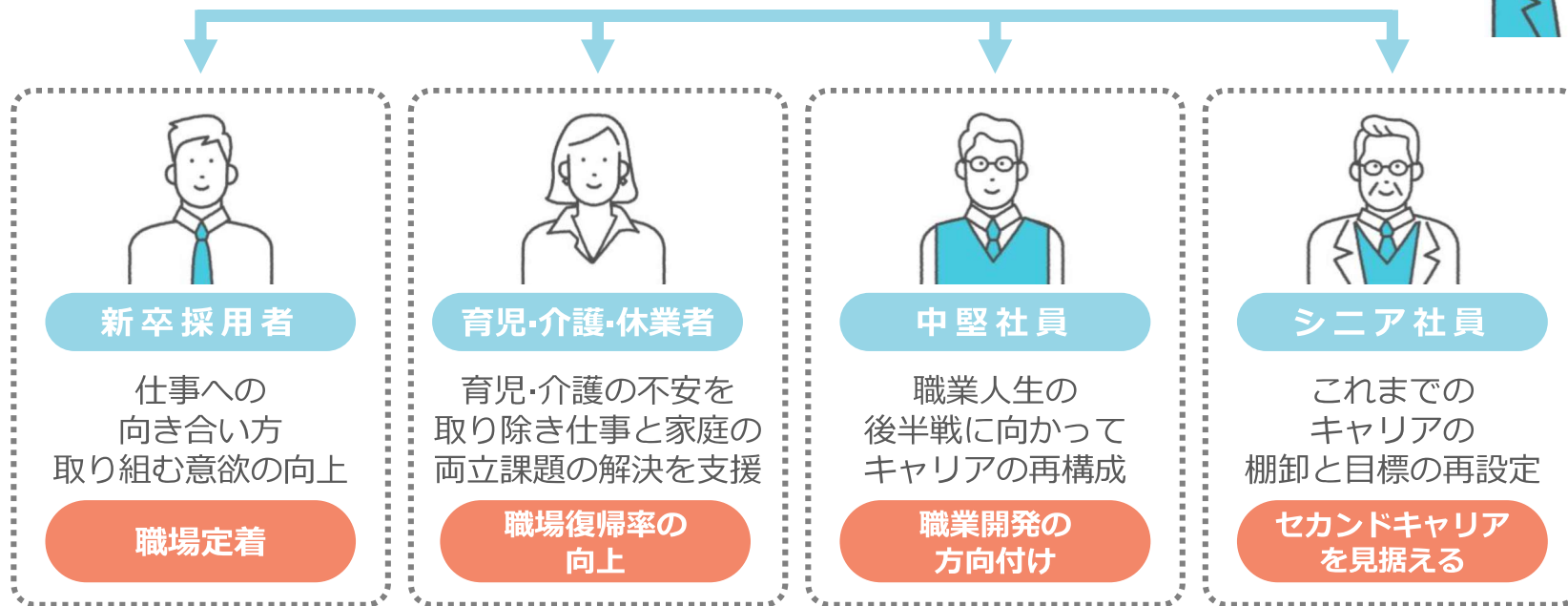
研修  
内容

- ライフラインチャートでこれまでを振り返るワーク
- 強み・価値観再確認ワーク、これまでの仕事経験の棚卸ワーク
- キャリアコンサルティングとは？キャリアコンサルティングの当日案内

# 支援センターの事業内容（対企業等）

## 従業員のためのキャリアコンサルティング

国家資格キャリア  
コンサルタント



労働者が自律的・主体的かつ継続的にキャリア形成及び職業に関するリスキングを行うことを、組織も支援することでWin-Winな関係に

# 支援センターの事業内容（対企業等）

## ③ セルフ・キャリアドックの導入支援

### セルフ・キャリアドック とは？

企業がその人材育成ビジョン・方針に基づき、キャリアコンサルティング面談と多様なキャリア研修などを組み合わせて、体系的・定期的に従業員の支援を実施し、従業員の主体的なキャリア形成を促進・支援する総合的な取り組み、また、そのための企業内の「仕組み」のことです

出典元：厚生労働省 平成29年11月発行「セルフ・キャリアドック」導入の方針と展開

入社時や役職登用時、育児休業からの復職時といった効果的なタイミングでキャリアガイダンスやキャリアコンサルティング面談を実施することにより、**社員の仕事に対するモチベーションアップや定着率向上、企業の生産性向上を目指す仕組みの導入を支援**します。

### セルフ・キャリアドックの効果



# 支援センターの事業内容（対教育機関）

大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校を対象としています。



## ① ジョブ・カード作成を通じた就職活動準備セミナー

- 学生に対する就職指導等に係る学校への支援として、ジョブ・カードを活用した就職活動準備のためのセミナー、インターンシップ前後の振り返り、エントリーシートの作成支援等の実施方法、目的に応じたジョブ・カードのカスタマイズ方法（項目の統合・省略・追加等、様式の編集が可能であること等）の情報提供
- ジョブ・カード作成セミナーの実施

### 就職活動前準備セミナー（90分）実施例

研修  
内容

- 自己理解・自己分析の大切さを理解する
- 自己分析ワーク・グループシェア（個性・強み・価値観）
- 将来取り組みたいことを考える
- 自己PR文を作成してみる



## ② 学生に対するキャリアコンの実施に係る助言・指導

- 学生に対するキャリアコンの実施に係る助言・指導、学生に対するキャリアコンを実施する学校の実施状況（ジョブ・カード作成件数含む。）を把握し、実施方法等について、必要な助言・指導

# 山形支援センターにおける現在の課題と重点取組事項

## 1. キャリアコンサルティング申し込みの増加

- ・リスクリングやキャリアコンサルティングの意義・必要性の認知度向上  
(チラシの設置、個人の労働者向けの普及セミナー実施等)  
→これにより、訓練受講やキャリアコンサルティングの申し込みに繋がると考える。
- ・訓練キャリアコンサルティング以外の労働者向けキャリアコンサルティングの申し込み増加
- ・「継続的にキャリアの相談ができる場所」として、相談コーナーの認知度向上

## 2. 企業・学校への普及強化による支援数の増加

- ・人材育成に積極的な企業へのアプローチ  
(採用難、若手の定着を強化したい、管理職の育成、中高年の活躍支援)
- ・就職指導に課題を感じている学校へのアプローチ  
(売り手市場のため就職率は高いが、早期離職してしまう、自己理解不足等の課題感あり)
- ・当事業の認知度向上  
(無料で実施可能な従業員向けのキャリア支援や、個別面談があることを知っていただく)